

令和8年第3回 区づくり推進横浜市会議員会議

日 時 令和8年9月2日（水） 午前10時から

場 所 磯子区役所 7階 701・702 会議室

次 第

1 座長あいさつ 市会議員 武 田 勝 久

2 議 題

議題1	令和7年度磯子区個性ある区づくり推進費の決算について
議題2	令和8年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行状況について
議題3	令和9年度磯子区予算編成の考え方について

区 づ く り 推 進 横 浜 市 会 議 員 会 議 運 営 要 領

制 定 平成 6 年 5 月 2 5 日

最近改正 平成 2 5 年 8 月 9 日

1 目 的

本市における個性ある区づくり推進費等について協議するため、各区に区づくり推進横浜市議員会議（以下「会議」という。）を置く。

2 招 集

会議は、市会議長が招集する。

3 構 成

会議は、当該区選出の市議員をもって構成し、互選による座長を置く。

4 協議事項

個性ある区づくり推進費に関して協議する。また、区の主要事業（区内において局が行う事業及び区配事業を含む）に関して必要に応じ協議する。

5 説 明 員

区長及び区局関係職員とする。

6 開催内容及び開催時期

開催内容及び開催時期は、次のとおりとする。

- （１）個性ある区づくり推進費の翌年度予算案に関して、予算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- （２）個性ある区づくり推進費の当該年度執行計画等に関して、６月頃開催する。
- （３）個性ある区づくり推進費の前年度実績と当該年度の執行状況及び翌年度予算編成の考え方に関して、決算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- （４）局が行う事業及び区配事業を含む区の主要事業に関しては、上記開催時に必要に応じて適宜協議する。

7 事 務 等

- （１）会議の事務は区長が行い、会議の概要を記載した議事録を作成する。
- （２）議事録は、会議の日時、場所、出席者、議題及び発言の要旨を記載する。
- （３）座長は、議事録を議長に提出する。提出された議事録は、議長において、これを公開する。

附 則

この要領は、平成 1 6 年 1 2 月 1 0 日より施行する。

附 則

この要領は、平成 2 5 年 8 月 9 日より施行する。

議題 1 令和 7 年度磯子区個性ある区づくり推進費の決算について

- 1 決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 主要事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3 自主企画事業等決算状況一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12



令和 8 年 9 月
磯 子 区

1 決算概要

(1) 総括表

(単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
自主企画事業費	95,482,000	95,482,000	95,443,441	38,559
統合事務事業費	49,326,000	49,326,000	47,492,194	1,833,806
統合事務費	26,723,000	26,723,000	25,647,126	1,075,874
統合事業費	22,603,000	22,603,000	21,845,068	757,932
区庁舎・区民利用施設管理費	776,110,000	789,734,000	788,858,071	875,929
合 計	920,918,000	934,542,000	931,793,706	2,748,294

(2) 事業区分別内訳

ア 自主企画事業費 (単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
Ⅰ 地域の力と魅力にあふれるまち ～区制100周年、GREEN×EXPO 2027の機運醸成～	50,981,000	50,981,000	54,857,962	△ 3,876,962
	「区民のちから」発揮・活用事業 磯子まつり・区制100周年事業 など14事業			
Ⅱ 安全・安心なまち	14,474,000	14,474,000	14,672,200	△ 198,200
	地域と一緒につくる防災・減災事業 など5事業			
Ⅲ 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち	30,027,000	30,027,000	25,913,279	4,113,721
	磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業 子育て応援事業 など10事業			
計	95,482,000	95,482,000	95,443,441	38,559

イ 統合事務事業費

(ア) 統合事務費 (単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
統合事務費	26,723,000	26,723,000	25,647,126	1,075,874

(イ) 統合事業費 (単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
広報よこはま磯子区版発行事業	9,912,000	9,912,000	9,362,861	549,139
区民相談事業	2,575,000	2,575,000	2,573,930	1,070
クリーンタウン事業	2,368,000	2,368,000	2,287,922	80,078
消費生活推進事業	615,000	615,000	613,700	1,300
スポーツ推進委員支援事業	3,260,000	3,260,000	3,260,000	0
青少年指導員協議会支援事業	2,160,000	2,160,000	2,158,820	1,180
学校・家庭・地域連携支援事業	1,166,000	1,166,000	1,166,000	0
緊急時情報システム運用事業	547,000	547,000	421,835	125,165
計	22,603,000	22,603,000	21,845,068	757,932

ウ 区庁舎・区民利用施設管理費 (単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
区庁舎等 [総合庁舎、区民活動支援センター等]	201,133,000	201,133,000	198,577,736	2,555,264
土木事務所 [磯子土木事務所]	11,411,000	11,411,000	13,659,292	△ 2,248,292
公会堂 [磯子公会堂（1館）]	39,369,000	40,365,000	40,263,000	102,000
地区センター [地区センター（4館）]	181,397,000	187,028,000	187,476,000	△ 448,000
青少年施設 [こどもログハウス（1か所）]	11,201,000	11,501,000	11,501,000	0
区民文化センター [杉田劇場（1館）]	141,638,000	144,431,000	144,384,000	47,000
老人福祉センター [老人福祉センター（1館）]	43,051,000	44,332,000	43,312,773	1,019,227
コミュニティハウス [コミュニティハウス（7館）]	73,695,000	74,587,000	74,639,200	△ 52,200
区スポーツセンター [磯子スポーツセンター（1館）]	51,036,000	52,767,000	52,751,000	16,000
国際交流ラウンジ [多文化交流ラウンジ（1館）]	15,845,000	15,845,000	15,844,600	400
その他（広場・遊び場等） [子どもの遊び場（1か所）、 町のはらっぱ（4か所）等]	410,000	410,000	346,000	64,000
区庁舎・区民利用施設修繕費 [小破修繕経費]	5,924,000	5,924,000	6,103,470	△ 179,470
計	776,110,000	789,734,000	788,858,071	875,929

2 主要事業一覧

【重点】：重点事業、【新規】：新規事業、【拡充】：拡充事業

I 地域の力と魅力にあふれるまち～区制 100 周年、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成～

【予算：50,981,000 円】

【決算：54,857,962 円】

多様化する地域課題と向き合い、自治会町内会や商店街、事業者など地域で活躍する皆さまと協働で地域の活性化に取り組みました。
また、令和 9 年の区制 100 周年及び横浜グリーンエクスポを契機に、区の魅力や地域資源を活用した機運醸成を図ることで、脱炭素化に向けた取組を推進しました。

(1) 「区民のちから」発揮・活用事業 【重点】 【新規】 【拡充】 P. 14

地域活動の担い手として若者世代を取り込み、「子どものころから地域とつながる」きっかけづくりのため、中学生のボランティア活動の支援、横浜市立大学と連携した地域行事への派遣支援に加え、若者世代を対象としたボランティア講座を開催し、地域からの要望により自治会町内会等が実施する行事へ延べ 218 人を派遣しました。

(2) 磯子まつり・区制 100 周年事業 【重点】 【拡充】 P. 16

区民・区内活動団体・区内企業等で構成する磯子区制 100 周年記念事業実行委員会が主体となって、9 月 28 日に磯子まつりを開催し、約 47,000 人にご来場いただきました。区制 100 周年のロゴマークを策定し、横断幕やステッカーを作成して更なる機運醸成に取り組むとともに、実行委員会の中に設置された「総務・協賛部会」、「100 周年広報部会」、「100 周年記念事業部会」を中心に、100 周年に向けた検討を進めました。

(3) 区民スポーツ振興事業 【新規】 P. 17

磯子区連合町内会長会とともにホームタウン協定を締結した「横浜ビー・コルセアーズ」と連携し、プロスポーツに触れることでスポーツへの関心を高めるため、試合観戦企画「いそご区民 DAY」を 4 月 23 日に実施し、140 人の区民の方にご参加いただきました。また、スポーツをする機会の提供として、小学生向けバスケットボールクリニックを 3 月 14 日に実施しました。

(4) 地域文化活性化事業 P. 18

乳幼児から高齢者まで、すべての世代が読書に親しむ機会を創出し、読書活動の推進を図りました。2月7日に開催した読書活動推進講演会には、117人の方にご参加いただきました。

8月19日に、りんごの棚（特別な配慮を必要とする子どもが利用しやすい本を集めた棚）を磯子図書館に設置し、資料等を充実させました。また、乳幼児健診におけるおはなし会の開催など、磯子図書館をはじめ、区民利用施設、小中学校・保育園、読書関係団体等の皆様と連携して、様々な取組を進めました。

～第三次磯子区読書活動推進目標について～ 計画期間：令和7年度～11年度

小中学校関係者や保育園、区役所関係各課による検討会議、図書館利用者団体等のご意見を踏まえ、関係法令に基づき、「第三次横浜市民読書活動推進計画（令和7年3月策定）」に則り、令和7年4月に策定しました。

【目標1】未来を担う子どもたちの読書活動の推進

【目標2】区民の読書活動の環境と機会の充実

【目標3】読書バリアフリーの推進

(5) 区の魅力創出・発信事業 **重点** **新規** **拡充** P. 19

磯子区魅力発信サイト「ISOGO+」（いそごふらす）において、おすすめスポットを募集及び掲載（～7月）し、コンテンツを拡充するとともに、デジタルマップを活用して、磯子の魅力再発見に繋がるスタンプラリー（11～1月）や、まちあるきコースの掲載（3月）などを実施しました。

また、磯子区の歴史の一部である堀割川の活用に向けて、堀割川や根岸湾を巡るクルーズ運航（12・3月）や、よこはま運河チャレンジ（関内・関外地区の商店街・町内会、企業、行政が主催する社会実験）との連携（11月）等を実施しました。

(6) 脱炭素・GREEN×EXPO 2027 推進事業 **重点** **拡充** P. 20

横浜グリーンエキスポ開催1年前である3月に親子向けの環境啓発イベント「いそごこどもエコフェスタ」を実施し、約600人の方にご来場いただきました。さらに、植物発電システムを区内全中学校に巡回展示（9～12月）するとともに、区庁舎1階に設置したフォトブースを拡張し、横浜グリーンエキスポ及び磯子区制100周年PR特設ブースを設置しました（9月）。また、磯子事業会と連携した企業見学・体験教室等の広報を「ISOGO+」において5件実施し、延べ6,711人の方が参加しました。

Ⅱ 安全・安心なまち

【予算：14,474,000 円】

【決算：14,672,200 円】

「横浜市地震防災戦略（令和 7 年 3 月改定）」を踏まえ、震災や激甚化している風水害に備え、様々な世代や多様な避難者への対応を含めた自助・共助の取組の支援や啓発等を実施することにより、地域防災力の向上を図りました。

また、地域・学校・警察等と連携した防犯対策や交通安全対策に取り組みました。

(1) 地域と一緒に作る防災・減災事業 重点 新規 拡充 P. 25

近年激甚化する風水害や、発生が危惧されている震災に対しての区民の防災意識の高まりを受け、3つの新規事業を実施しました。「地域防災アドバイザー派遣」を 30 回（17 団体）実施したほか、「楽しい防災プログラム体験会」を磯子消防署との共催により開催しました。また、「崖地相談会」を 2 回（11 組）実施しました。

さらに、災害時でも安定した通信環境が確保できる地域 BWA 等を活用し、三師会及び医療機関などと連携した訓練を 3 月 15 日（13 団体）に実施しました。

加えて、発災時のペット同行避難の円滑化を図るため、洋光台第一小学校及び洋光台第四小学校の地域防災拠点で、ペット同行避難訓練を実施しました。

Ⅲ 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

【予算：30,027,000 円】

【決算：25,913,279 円】

多様化する子育てニーズを踏まえた育児支援をはじめ、「第4期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」に基づく地域の皆さまの取組の支援や、第5期計画の策定、地域包括ケアシステムの推進、多文化共生の推進に取り組みました。

(1) 磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業 **重点** P. 34

「第4期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」（令和3年度～7年度）の推進のため、地域の福祉保健活動の支援や計画の普及啓発を行いました。また、「誰もが幸せに暮らせるまち」の実現を目指して、第5期計画（計画期間：令和8年度～12年度）を策定しました。

(2) 子育て応援事業 **重点** **新規** P. 35

保護者のニーズを踏まえ、地域子育て支援拠点「いそピヨ」と連携し、平日多忙な方でも参加しやすい日曜日を、「Sunday いそピヨ」としてオープン（年10回、うち2回は地域へのアウトリーチとして滝頭地域ケアプラザ、上笹下地域ケアプラザで開催）するとともに、男性の育児参加を促進する講座を開催しました。

※計742人（うち、保護者等390人；父親141人・母親234人・その他家族15人、子ども352人）参加。

(3) 多文化共生推進事業 **重点** P. 46

「いそご多文化共生ラウンジ」において、地域団体・学校等と連携し、外国人住民の防災意識の向上や外国につながる子どもたちへの支援など地域の抱える課題に取り組んだほか、外国人住民が活躍できるきっかけづくりに対応するため、多文化共生を推進する取組を実施しました。具体的には、外国人ボランティア（6人）による地域イベントでのごみ分別啓発（3回、340人参加）、日本語教室における防災啓発（7か所、141人参加）を実施しました。

<参考>

1 区制 100 周年に向けた取組【令和 7 年度決算：22,912,326 円】

【関連事業】

- (1) 磯子まつり・区制 100 周年事業 <地域振興課>
- (2) 区の魅力創出・発信事業 <区政推進課>
- (3) 脱炭素・GREEN×EXPO 2027 推進事業 <区政推進課>

2 GREEN×EXPO 2027 に向けた取組【令和 7 年度決算：10,111,255 円】

【関連事業】

- (1) 脱炭素・GREEN×EXPO 2027 推進事業 <区政推進課>
- (2) 保育園地域子育て支援事業 <こども家庭支援課>

3 自主企画事業等決算状況一覧

【重点】：重点事業、【新規】：新規事業、【拡充】：拡充事業】

I 地域の力と魅力にあふれるまち～区制100周年、GREEN×EXPO 2027の機運醸成～

【予算額：50,981,000円】

【決算額：54,857,962円】

事業名	事業内容
1 自治会町内会振興事業 [予算額：5,236,000円] [決算額：4,706,170円] <地域振興課> 【アウトカム指標(全)】 自治会町内会加入率 目標：前年度以上 【参考：6年度実績】 67.6% 実績：66.2%	自治会町内会の活動支援や負担軽減等、地域の振興に寄与する取組を進めることで、自治会町内会への加入促進や地域住民の連帯感の醸成、自治会町内会活動の充実や円滑化を図りました。 (1) 自治会町内会支援事業 ア 加入申込書（多言語版（英語・中国語・韓国語）含む）・加入促進チラシの配布 イ 自治会町内会用会計システム操作講習会 開催日：6月3日・7日・19日 参加数：12団体・15人 ウ 掲示板設置等補助事業《2件（新設1件、修繕1件）》 (2) 自治会町内会長感謝会《2月27日》 (3) 自治会町内会役員等表彰《6地区・10人》



「自治会町内会長感謝会」

2 自治会町内会活動 デジタル化支援事業

[予算額：1,980,000 円]

[決算額： 781,000 円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

参加者アンケートで「今後の活動に活かそう」と回答した割合

目標：100%

実績：88%

自治会町内会活動の負担軽減と効率化を目指し、自治会町内会の希望やニーズに応じたデジタル化支援等の取組を行いました。

(1) 自治会町内会デジタル化お助け事業《9 団体・19 回》

デジタル機器の初歩的な取扱いや自治会町内会のホームページ作成・デジタル連絡ツールの活用など、きめ細やかな支援を実施しました。



「アドバイザーによるデジタル化に向けた相談対応、会員向けスマホ講座（坪呑第三街区自治会）」



「会報誌やイベント情報を掲載したホームページ運用（久良岐丘自治会）」



3「区民のちから」発
揮・活用事業

重点

[予算額：1,626,000 円]
[決算額：1,585,186 円]

<地域振興課>

【アウトカム指標 (1)(2)】
地域力の取組を通して 地域と関わりを持った 人の数
目標：50人
実績：54人

自治会町内会・地域活動団体の活性化を図るため、いそご区民活動支援センターを中心に地域活動の担い
手育成講座の実施や情報発信を行い、自治会町内会や活動グループ・団体を支援しました。

(1) 若者世代ボランティア派遣 拡充

ア 若者世代のボランティア活動の支援として、活動先の募集やボランティアの募集・派遣（通年 43 回・
218 人派遣、うち 1 回は横浜市立大学と連携して実施）

イ ボランティアに関心がある若者世代を対象とした講座の開催

開催日：7 月 6 日
参加数：6 人

(2) 磯子区つながる交流会 新規

地域行事の事例共有、情報交換や交流等を実施

開催日：11 月 28 日
参加数：21 人

(3) 担い手育成講座

第 1 回「呼吸法・発声法を学び日頃の活動力アップ」

開催日：7 月 6 日、参加数：16 人

第 2 回「デザインを簡単に作成できるツールによるチラシづくり」

開催日：2 月 14 日、参加数：36 人

(4) 地域活動交流会

開催日：3 月 14 日、参加数：19 人

(5) いそご地域活動フェス

開催日：12 月 11 日～14 日、参加数：300 人

(6) いそご区民活動支援センター運営事業



「中学生ボランティアの様子
（森南町内会）焼き芋大会」



「いそご地域活動フェス
（フェイスペイントの体験ブース）」



「中学生ボランティアの様子
（森南町内会）焼き芋大会」



「いそご地域活動フェス
（フェイスペイントの体験ブース）」

4 商店街にぎわいづくり事業

[予算額：4,120,000 円]

[決算額：3,652,000 円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(全)】
磯子区商店街連合会 会員店舗数
目標：350店
実績：328店

商店街を含めた地域コミュニティの活性化を目指し、磯子区商店街連合会と連携して商店街の魅力を発信し、にぎわいの創出を進めました。

(1) 商店街朝市

区役所屋外駐車場や他のイベント会場へ出店して開催

開催日：4月19日・20日、5月17日、9月28日、11月15日

(2) 商店街魅力発信イベントの実施

磯子区商店街連合会と連携し、商店街の店舗を巡ることで、商店街の魅力をPRするイベント（商店街宝くじ）を実施

開催日：10月20日～11月2日

(3) 商店街マップの配布

商店街を紹介する冊子を作成し、商店街、区内郵便局、区役所窓口やイベント等で配布することで、商店街の情報及び魅力を発信

「商店街朝市」

「商店街マップ」「いそご商店街宝くじ」



「商店街朝市」



「商店街マップ」「いそご商店街宝くじ」

横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から再配当】

魅力ある商店街づくりや商店街の活性化を図ることを目的として、商店街等が実施するイベントにかかる経費を補助しました。

商店街プレミアム付商品券支援事業【経済局事業】

地域経済の活性化を図るため、商店会等が主体となって発行する商品券事業に係る経費を補助しました。

5磯子まつり・区制100周年事業 重点 [予算額：5,500,000円] [決算額：7,989,168円] <地域振興課> <table><tr><td>【アウトカム指標(全)】</td></tr><tr><td>来場者アンケートの満足度の割合</td></tr><tr><td>目標：99%</td></tr><tr><td>実績：99%</td></tr></table>	【アウトカム指標(全)】	来場者アンケートの満足度の割合	目標：99%	実績：99%	区民・区内活動団体・区内企業等で構成する実行委員会が主体となり、区民まつりを開催することで、区民の皆様の磯子区への愛着と一体感の醸成を目指し、磯子区の賑わい創出に取り組みました。 また、「磯子区制100周年記念事業実行委員会」の中に設置された「総務・協賛部会」、「100周年広報部会」、「100周年記念事業部会」を中心に、100周年に向けた検討を進めました。 100周年に向け、ロゴマークを策定するとともに、横断幕やステッカーを作成し折々の機会を捉えPRを行い、機運醸成を図りました。 「第49回磯子まつり」 拡充 開催日：9月28日 来場者：約47,000人  「磯子区制100周年記念ロゴマーク」  「第49回磯子まつり」
【アウトカム指標(全)】					
来場者アンケートの満足度の割合					
目標：99%					
実績：99%					
6健民祭応援事業 [予算額：2,700,000円] [決算額：2,424,000円] <地域振興課> <table><tr><td>【アウトカム指標(全)】</td></tr><tr><td>健民祭を通して地域のつながりが深まっていると感じている割合</td></tr><tr><td>目標：80%</td></tr><tr><td>実績：67%</td></tr></table>	【アウトカム指標(全)】	健民祭を通して地域のつながりが深まっていると感じている割合	目標：80%	実績：67%	地域のつながりを強化し、地域に対する愛着や誇りを育むため、地域の様々な団体が連携して実施する「健民祭」に補助金を交付し支援しました。 開催地区：8地区 参加数：6,395人  「杉田地区健民祭」
【アウトカム指標(全)】					
健民祭を通して地域のつながりが深まっていると感じている割合					
目標：80%					
実績：67%					

7 区民スポーツ振興事業

[予算額：1,420,000 円]

[決算額：1,270,200 円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

【横浜市民スポーツ意識調査】1年間で運動やスポーツを週1回以上実施した(磯子区)

目標：60%

実績：65.6%

区民のスポーツを通じた健康づくりを促進し、地域スポーツの向上・発展を図るため、磯子区スポーツ協会加盟団体やスポーツ振興団体が開催する区民大会・スポーツ教室への支援や、区民がスポーツに親しむ機会の提供に取り組みました。

(1) スポーツ振興活動補助金交付事業

磯子区スポーツ協会加盟団体等が開催する区民スポーツ大会や教室への補助金交付等により、スポーツを通じた区民の健康づくりを促進しました。
《少年野球・剣道大会等 15 事業交付》

(2) トップスポーツチームとの連携を通じた機運醸成事業 新規

磯子区連合町内会長会とともにホームタウン協定を締結した「横浜ビー・コルセアーズ」との連携により、スポーツの振興を図りました。

ア 試合観戦企画(いそご区民 DAY)

開催日：4月23日(横浜 BUNTAI)

申込数：70組140人

イ バスケットボールクリニックの実施

開催日：3月14日(ウェインズたきがしら会館)

参加数：小学生15人

ウ スポーツチームと連携した区制100周年など区事業のPR等

開催日：4月23日(いそご区民 DAYにて実施)

磯子区ブース来場者：約350人



「春季磯子区民剣道錬成大会」



「横浜ビー・コルセアーズ
いそご区民 DAY 磯子区ブース」

8 地域文化活性化事業

[予算額：785,000 円]

[決算額：630,051 円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

区民意識調査「仕事や学業以外に活動してみたいこと」、「文化・芸術活動への参加や振興」の割合

目標：19%

実績：令和9年1月公表
予定

乳幼児から高齢者まで、すべての世代が読書に親しむ機会を創出し、読書活動の推進を図りました。また、地域の文化活動団体への支援及び様々なグループの発表の場や芸術鑑賞の機会をより多く提供することで、磯子区の文化の活性化を図りました。

(1) 読書活動推進講演会

テーマ：「絵本の世界を旅しよう！～作家と声優といっしょに～」

開催日：2月7日

参加数：117人

(2) 第三次読書活動推進目標のPR

リーフレットの作成・配布

配布数：980部

(3) 「いそご芸術文化祭」参加事業への助成《13事業交付》

(4) 区民ホールギャラリーでの展示《通年》

区内のグループ等による創作物（絵画等）を週替わりで展示



「第三次磯子区読書活動推進
目標リーフレット」

～第三次磯子区読書活動推進目標について～ 計画期間：令和7年度～11年度

小中学校関係者や保育園、区役所関係各課による検討会議、図書館利用者団体等のご意見を踏まえ、関係法令に基づき、「第三次横浜市民読書活動推進計画（令和7年3月策定）」に則り、令和7年4月に策定しました。

【目標1】未来を担う子どもたちの読書活動の推進

【目標2】区民の読書活動の環境と機会の充実

【目標3】読書バリアフリーの推進

9 区の魅力創出・発信

事業 重点

[予算額 : 5,900,000 円]

[決算額 : 5,684,717 円]

<区政推進課>

【アウトカム指標(1)】

磯子区魅力発信サイト
「ISOGO+」 閲覧回数

目標 : 80,000回

実績 : 113,086回

磯子区への愛着や誇りを育み、住み続けたい、訪れたいと思ってもらえるまちを目指すため、令和9年に迎える磯子区制100周年及び横浜グリーンエキスポに向けた機運醸成と区の魅力創出・発信を一体的に行いました。

(1) 磯子区の魅力情報発信事業 拡充

ア 魅力発信サイト「ISOGO+」(いそごふらす)において、磯子の魅力を広く発信するため区内のおすすめスポットを一般募集し、20か所公開《7月》

イ 広報よこはまと連動した「磯子の逸品」クーポン企画やデジタルスタンプラリーイベントを実施

- ・クーポン企画 《5回 5・7・9・11・2月》

- ・デジタルスタンプラリー 《11～1月》

参加数 : 723人

(2) 堀割川の魅力づくり活動支援

- ・地域団体によるイベント・広報活動等の支援《9月、1月、3月》

- ・堀割川の日とよこはま運河チャレンジ(関内・関外地区の商店街・町内会、企業、行政が主催する社会実験)の同日開催《11月》

(3) 堀割川の親水活用事業 新規

磯子区の歴史の一部である堀割川の活用に向けて、

堀割川や根岸湾を巡るクルーズ運航(2回 12・3月)

参加数 : 236人



「魅力発信サイト「ISOGO+」
(いそごふらす)」



「堀割川・根岸湾クルーズ(12月)」

10 脱炭素・GREEN × EXPO 2027 推進事業	重点				
	[予算額：7,513,000 円]				
	[決算額：9,238,441 円]				
	＜区政推進課＞				
	＜地域振興課＞				
<table><tr><td>【アウトカム指標(1)】</td></tr><tr><td>当課実施イベント・講座参加者アンケートにおいて環境行動を意識して生活すると回答した人の割合</td></tr><tr><td>目標：85%</td></tr><tr><td>実績：98%</td></tr></table>		【アウトカム指標(1)】	当課実施イベント・講座参加者アンケートにおいて環境行動を意識して生活すると回答した人の割合	目標：85%	実績：98%
【アウトカム指標(1)】					
当課実施イベント・講座参加者アンケートにおいて環境行動を意識して生活すると回答した人の割合					
目標：85%					
実績：98%					

区内企業等と連携し、主に未来を担う子どもたちに対して気候変動等と脱炭素社会への理解を深める啓発等を実施し、環境行動を意識するとともに横浜グリーンエキスポの機運醸成を図りました。	
(1) 脱炭素推進事業	拡充
ア 植物発電システムの展示・ワークショップの実施	
(ア) 区内全中学校への巡回展示	
実施期間：9月～12月	
(イ) 子ども向けワークショップ	
開催日：3月20日（「いそごこどもエコフェスタ」にて実施）	
参加数：36人	
イ	「いそごこどもエコフェスタ」の開催
開催日：3月20日	
参加数：約600人	
内容：エコパフォーマンスショー、環境に関するワークショップ、映画上映、環境パネル展	
ウ	企業見学・イベント等の開催協力
磯子事業会と連携し、「ISOGO+」において企業見学・イベント等の広報を実施《6月～》	
(ア) 日清オイリオ横浜磯子事業場（工場見学）	
掲載期間：7月～3月	
参加数：5,470人	
(イ) 横浜市南部水再生センター（施設見学）	
掲載期間：7月～3月	
参加数：69人	
(ウ) IHI 横浜事業所（ものづくり教室のイベント）	
開催日：7月19日	
参加数：120人	



「いそごこどもエコフェスタ」



「いそごこどもエコフェスタ」

(エ) J-POWER 磯子火力発電所（見学会）

掲載期間：9月～3月

参加数：220人

(オ) J-POWER まつり（イベント）

開催日：11月16日

参加数：832人

オ 横浜グリーンエクスポ及び磯子区制100周年PR特設ブース

(ア) 区庁舎1階に設置したフォトブースを拡張《9月～》

(イ) 100周年記念事業の一環として、磯子の歴史や未来等をテーマにした、区民参加型のいそご「百彩パネル」制作企画

(2) 磯子のまち花いっぱい事業

ア 花の種・球根の配布

配布時期：9月～3月（磯子まつり等のイベント時）

配布数：花の種3,000袋、球根3,000個

イ 花と緑の維持管理

(ア) 区役所前の花時計の植替え《4回》

(イ) 駅前の花苗の植替え《4回》



「磯子区制100周年PR特設ブース」

GREEN×EXPO 広報・推進活動事業【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局から再配当】

横浜グリーンエクスポの機運醸成に向けて、区内公園への横断幕設置、区民利用施設のエレベーターラッピング、公用車用マグネットシートの作成、区内講座・イベント等におけるチラシ及びグッズ配布等、磯子区におけるPRの実施

市民や企業と連携した緑のまちづくり事業【みどり環境局から再配当】

(1) 区内の公園愛護会及び公園の指定管理者へコスモスの種を配付し、公園で育成

(2) 色とりどりのコスモスが咲き誇る「カクテルコスモス花壇」の整備



「磯子まつりでの球根・花の種配布」

11 脱炭素・まちの美化 推進事業

[予算額：2,300,000 円]

[決算額：2,299,947 円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

区民1人あたり1日に排出する燃やすごみの総量

目標：377グラム以下

実績：364グラム

3 R + ^{リニューアブル}Renewable (※) の推進やポイ捨て防止等まちの美化について、様々な普及・啓発活動を行うことで、「ヨコハマ プラ 5.3 計画」の目標達成と脱炭素社会の実現に向けて取組を進めました。

※^{リニューアブル}Renewable：再生可能な資源に置き換えることであり、例えば、木や紙などの代替素材やバイオマスプラなどを使用した製品を選ぶこと

(1) イベント等の機会を活用した啓発活動

実施回数：45 回、参加数：4,120 人

(2) 保育園・幼稚園、小・中学校での出前教室

実施回数：14 回、参加数：1,184 人

(3) もったいないノートの配布《7 月 22 日～9 月 30 日》

配布対象：区内市立小・中学校の全児童・生徒

配布数：約 13,000 部

(4) 環境施設見学会

びん・缶・ペットボトルの選別施設及びプラスチックのリサイクル施設を見学

開催日：8 月 22 日、参加数：37 人

(5) リサイクル工作教室

開催日：8 月 20 日（午前、午後）、参加数：51 人

(6) 磯子駅周辺において、周辺事業者等の協力による清掃活動の実施

《212 回》

(7) 横浜マラソン区内コース沿道清掃

開催日：10 月 23 日、参加数：112 人

(8) スポGOMI 大会 in 磯子の開催

開催日：12 月 7 日、参加数：65 人



「ヨコハマ プラ 5.3 計画の
ロゴマーク」



「スポGOMI 大会 in 磯子」

12 広報・案内事業 [予算額：6,020,000 円] [決算額：5,650,601 円] ＜総務課＞ ＜区政推進課＞ 【アウトカム指標(2)】 区民生活・震災時防災マップに関するアンケート調査により、役に立たと答えた人の割合 目標：85% 実績：100%	総合窓口での丁寧な庁舎案内を行うほか、磯子区区民生活・震災時防災マップの配布など、わかりやすく生活に必要な情報等を発信することで、区役所サービスの満足度を高め、親しみやすく利用しやすい区役所の実現や区民の生活利便性向上に取り組みました。 (1) 来庁者への親切丁寧な庁舎案内を実施 (2) 生活に必要な情報や区の魅力を伝える情報をまとめ、転入者等へ配布するほか、区内の魅力的な風景等を撮影した広報素材の収集・活用 (3) 区民生活に関わりの深い各種統計情報を掲載した「磯子区統計白書」の発行《2月》  「庁舎案内」
13 区民満足度向上事業 [予算額：4,432,000 円] [決算額：7,504,043 円] ＜総務課＞ 【アウトカム指標(1)イ】 講演会で人権の大切さへの理解が深まった人の割合 目標：80% 実績：92%	職員一人ひとりの窓口対応力の向上や人権意識の向上を図る研修等を実施するとともに、来庁者にとって利用しやすい庁舎環境の整備を行うことで、安心・信頼して行政サービスを受けることのできる区役所を実現しました。 (1) 研修、講演会等の開催 ア 応対力向上研修《7回 10月～11月》 (レジリエンス対応研修※：4回、アンガーマネジメント研修：3回) ※困難やストレスに直面した時に、柔軟に対応し、回復力を持って乗り越える力（レジリエンス）を高めることを目的とした研修 イ 人権啓発講演会 開催日：2月9日 テーマ：私たちはみんな同じ地球人 ～セイン・カミュさんと考える 多文化共生～ 講 師：セイン・カミュ氏（タレント、一般社団法人障がい者自立推進機構理事） 参加数：194人

	(2) 区庁舎環境整備事業 来庁者の利便性及び快適性の向上を図るため、来庁者向け Wi-Fi の運用やトイレ環境の整備をはじめ、庁舎内設備の更新、窓口発券システムの運用及び新たな窓口発券システム導入に向けた機器調達などを実施しました。					
14 区づくり経営事業 [予算額：1,449,000 円] [決算額：1,442,438 円] ＜区政推進課＞ <table><tr><td>【アウトカム指標(1)】</td></tr><tr><td>案内サイン更新箇所</td></tr><tr><td>目標：2 箇所</td></tr><tr><td>実績：0 箇所</td></tr><tr><td>(点検 (24箇所) の結果、更新が必要な箇所が無かったため)</td></tr></table>	【アウトカム指標(1)】	案内サイン更新箇所	目標：2 箇所	実績：0 箇所	(点検 (24箇所) の結果、更新が必要な箇所が無かったため)	主要事業の企画・進行管理、区内事業の総合調整を実施することで、区民ニーズを踏まえ、効果的・効率的に区の行政運営を行いました。 また、区民や来訪者に対し、区内公共施設等への円滑な誘導を図るため、区内に設置する案内サインの点検等を行いました。 (1) 運営方針の策定、周知《策定 5 月、周知 6 月》 (2) 区内事業の企画・総合調整 (3) 区内案内サインの点検《3 月》
【アウトカム指標(1)】						
案内サイン更新箇所						
目標：2 箇所						
実績：0 箇所						
(点検 (24箇所) の結果、更新が必要な箇所が無かったため)						

Ⅱ 安全・安心なまち

【予算額：14,474,000円】

【決算額：14,672,200円】

事業名	事業内容
15 地域と一緒につくる防災・減災事業 重点 [予算額：7,939,000 円] [決算額：7,820,147 円] ＜総務課＞ ＜福祉保健課＞ ＜生活衛生課＞ 【アウトカム指標(1)ア】 防災講座アンケート「災害に備えて3日以上防災備蓄を行っている」区民の割合 目標：60% 実績：60%	地域が主体となつて行う防災訓練の支援、区民の自助・共助の意識向上や取組促進を目的とした啓発、防災ボランティア団体の活動支援、区災害対策本部の充実強化を行うことで、災害時への備えを実施している区民を増やし、減災につなげました。 (1) 地域の自助・共助啓発事業 拡充 ア 防災講座の実施 大規模地震や風水害等に対する備えや避難行動等に関する講話及び防災啓発動画等の啓発資料・啓発物品の配布 実施数：35 回 参加数：1,758 人 イ 地域防災アドバイザー派遣 新規 町の防災組織が抱える課題解決のため、防災の専門知識を有する団体や防災士をアドバイザーとして、1 団体 3 回を上限に自治会町内会等へ派遣 派遣回数：30 回（17 団体） ウ 楽しい防災プログラム体験会 新規 あらゆる世代の防災訓練への参加や、地域における防災の担い手育成につなげるため、自治会町内会等の防災訓練に活かせるゲーム形式の訓練などの体験会を磯子消防署と共催により開催



「地域防災アドバイザー派遣」



「楽しい防災プログラム体験会」



「地域防災アドバイザー派遣」



「楽しい防災プログラム体験会」

開催日・場所：11月9日・磯子スポーツセンター

参加数：87人

エ 崖地相談会 **新規**

激甚化する災害による被害を軽減するため、専門家（地盤品質判定士）による崖地・擁壁の維持管理等に関する相談会を実施

開催日：7月23日・26日

参加数：11組

(2) 地域防災拠点等支援事業

ア 地域防災拠点運営委員向け講習会の実施

発災時の円滑な拠点運営や、拠点訓練の充実を図るため、運営委員向け講習会を実施

開催日：7月15日

参加数：37人

イ 物置の増設

備蓄品の増加により手狭となった備蓄庫の収容スペース不足解消のため、物置を設置（区内すべての拠点への増設完了）

設置日：1月8日（2拠点設置）

(3) 区災害対策本部強化事業

ア 区本部運営訓練

関係機関、ボランティア団体と連携した訓練を実施

開催日：5月22日、9月4日、1月22日

参加数：127人

イ 拠点動員者研修

災害時に地域防災拠点に動員する職員のスキルアップを図る研修を実施

開催日：8月22日、10月3日

参加数：27人



「崖地相談会」



「区本部運営訓練」

(4) 防災ボランティア活動支援事業

ア 防災パネル展の開催 開催日：8月28日～9月3日、1月14日～23日

イ 応急手当普及員の新規講習・再講習の支援

(5) 防災関連マップ等配布事業

区民による自発的な防災・減災活動に繋げていくため、磯子区区民生活・震災時防災マップ、在宅避難リーフレット、各種ハザードマップを配布することにより啓発を実施

(6) 災害時医療体制整備事業

ア 三師会、医療機関等関係機関による災害医療連絡会の開催

実施日：9月29日、3月15日

参加数：13団体

イ 医療機関・薬局と連携したMCA無線^{※1}等による情報受伝達訓練の実施

実施日：4月17日、6月5日、8月7日、10月2日、12月4日、2月5日

参加医療機関：各回10医療機関等

ウ 三師会との「のぼり旗掲出訓練」の実施

実施日：10月31日

参加医療機関等：113か所

エ 地域BWA^{※2}を用いた医療機関等との災害医療合同訓練

実施日：3月15日

参加数：13団体

※1 MCA (Multi Channel Access) 無線

複数のチャンネル（周波数）から自動的に空きチャンネルを選択して接続する通信方式を採用しており、公衆回線が混雑する状況でもつながりやすい。また、中継局は耐震設計や非常用発電機を備えており、災害に強い仕組みとなっている。通信速度は低速だが、電波伝搬性能は高い。

※2 地域BWA (Broadband Wireless Access)

広帯域移動無線アクセスのことで、携帯電話等で使われる周波数帯と異なる周波数帯を使用しており、災害時でも通信制限がかからず、安定した通信環境の確保が可能。通信速度が高速で映像伝送に向いている。

(7) 災害時ペット対策事業 **拡充**

地域防災拠点におけるペットの同行避難が円滑に進むよう、拠点に対する支援を行いました。また、飼い主に対しても日頃から必要な備えなど、ペット防災について啓発を行いました。

ア ペット同行避難訓練の支援

開催日・場所：1月17日

洋光台第一小学校及び洋光台第四小学校

参加数：17組

イ 災害時ペット対策の講習会

開催日：2月28日

参加数：40人

テーマ：実例から学ぼう ペットの飼い主さん！「日頃からの備え」できていますか？

ウ 区民ホールや地域防災拠点訓練等でのパネル展示

開催日・場所：10月27日区民ホール、11月21日杉田劇場

3月1日汐見台小学校、3月8日岡村公園スマイリングフェア



「ペット同行避難訓練のモデル
(イメージ)」

地域防災力向上事業【総務局事業】

(1) 地域防災活動奨励助成金

地域防災拠点運営委員会等が実施する研修・広報・訓練などの運営経費及び防災資機材の維持管理経費の一部として補助金を交付し、地域防災拠点を中心とした地域防災活動を支援しました。

(2) 「町の防災組織」活動費補助金

自治会町内会等により組織されている「町の防災組織」が行う自主防災活動の経費の一部として補助金を交付し、地域の自主防災活動を支援しました。

感震ブレーカー等設置推進事業【総務局事業】

震災時の火災による住宅被害の軽減を図るため、感震ブレーカーの設置補助を行いました。「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」における重点対策地域（不燃化推進地域）においては器具購入費を全額補助、重点対策地域以外の地域においては器具購入費の一部補助（最大1/2上限2,000円）を行いました。令和7年度からは、個人を対象とした補助制度・取付支援を横浜内全域に広げ、さらなる設置促進を図りました。

家具転倒防止対策助成事業【総務局事業】

地震発生時における人的被害を抑えるため、家具類の転倒防止器具を自力で設置することが難しいと考えられる、高齢者や障害者等のみで構成される世帯に設置助成を行いました。「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」における重点対策地域（不燃化推進地域）においては、家具転倒防止器具購入費を全額助成、重点対策地域以外の地域においては、家具転倒防止器具購入費の一部助成（最大1/2上限2,000円）を行いました。

災害時医療体制整備事業【医療局事業】

大規模災害に備え、横浜市防災計画に基づいた災害時医療体制をより充実させるため、災害医療関係機関との連携を強化しました。

医療救護隊関係機関である横浜市医師会、薬剤師会、看護協会と連携した集合研修を実施するほか、各区においても必要な訓練や研修を実施するなど、体制を充実させるための取組を進めました。

16 災害時要援護者支援事業 [予算額：1,078,000 円] [決算額：1,071,596 円] <総務課> <福祉保健課> <高齢・障害支援課> 【アウトカム指標(2)】 福祉避難所協定施設の開設理解度 目標：94% 実績：100%	自治会町内会等の取組支援、福祉避難所の運営支援を行うことで、高齢者・障害者など配慮が必要な災害時要援護者が円滑かつ安全に避難できる支援体制を整えました。 (1) 災害時要援護者の支援事業 安否確認等が円滑にできるよう、災害時要援護者名簿の掲載者をプロットした地図の作成 (2) 福祉避難所支援事業 福祉避難所協定施設と連携し、発災時の円滑な開設・運営を支援 ア 区と福祉避難所による連絡会の開催 開催日：7月9日、3月4日 イ 区と福祉避難所間での情報受伝達訓練の実施 開催日：6月11日、11月21日 ウ 福祉避難所の開設・受入訓練の実施 開催日：12月12日、2月19日 エ ポータブル電源を10施設に配備（希望27施設のうち21施設配備済）  「情報受伝達訓練の様子」
17 地域・学校防犯力強化事業 [予算額：1,750,000 円] [決算額：2,143,591 円] <地域振興課> 【アウトカム指標(全)】 犯罪発生件数（1月～12月※）※警察の統計が暦年のため 目標：565件 実績：714件	犯罪のない安全・安心なまちづくりを推進するため、地域・学校・警察等と協力・連携して防犯対策や啓発活動を進めました。犯罪のない安全・安心なまちづくりを推進しました。 (1) 防犯活動支援事業 ア 区民による主体的な防犯活動や取組に対する物品の貸与 参加数：51 団体 貸与物品数：886 点 イ 安全・安心メールの配信 登録アドレス数：2,681 件 ウ 磯子警察署と連携した特殊詐欺等防止の取組 防犯啓発キャンペーンへの区職員の参加：9 回  「自治会町内会による防犯パトロール」



「情報受伝達訓練の様子」



「自治会町内会による防犯パトロール」

	(2) 安全・安心まちづくり推進協議会運営 ア 安全・安心まちづくり推進協議会総会の開催《7月14日》 イ 功労者表彰の実施 開催日：10月17日 表彰者数：2人及び2団体 ウ 中学生ポスターコンクールの実施及び表彰 開催日：10月14日 応募者数：76人（うち受賞者数9人） (3) 青色防犯パトロール 実施回数：16回					
18 交通安全啓発事業 [予算額：2,999,000円] [決算額：2,913,866円] <地域振興課> <table><tr><td>【アウトカム指標(全)】</td></tr><tr><td>区内交通事故死者数</td></tr><tr><td>※()は市内目標と実績</td></tr><tr><td>目標：0 (36) 人</td></tr><tr><td>実績：3 (42) 人</td></tr></table>	【アウトカム指標(全)】	区内交通事故死者数	※()は市内目標と実績	目標：0 (36) 人	実績：3 (42) 人	交通事故防止と安全意識の向上を図るため、警察、交通安全協会等の団体と連携し、交通安全指導と啓発活動を進めました。 (1) 交通安全指導 交通安全教室や講習を警察署、交通安全協会等と連携して実施 ア 幼児交通安全教室《41 保育所・幼稚園 約 2,700 人》 イ 児童交通安全教室・はまっ子交通あんぜん教室《全 16 校 約 6,000 人》 ウ 大人への自転車マナー等交通安全啓発 (ア) 交通安全教室等で大人（保護者）に向けた自転車マナーの呼びかけ等《80 回 約 7,000 人》 (イ) 区シニアクラブ連合会行事等にて、反射材の配布等《6 回 約 1,500 個》 (ウ) 地区センター等区内施設にて、啓発ちらしの配架等《2,000 枚》 (2) 交通安全キャンペーン 各季キャンペーン 開催日：4月7日、7月11日、9月22日、12月11日 (3) スクールゾーン対策協議会への助成《交付団体数 14 団体》
【アウトカム指標(全)】						
区内交通事故死者数						
※()は市内目標と実績						
目標：0 (36) 人						
実績：3 (42) 人						



「はまっ子交通あんぜん教室
（洋光台第三小）」



「はまっ子交通あんぜん教室
(洋光台第三小)」

**19 食と暮らしの安全
確保事業**

[予算額：708,000 円]

[決算額：723,000 円]

<生活衛生課>

【アウトカム指標(1)】

社会福祉・教育関連施設、地域行事での集団食中毒発生件数

目標：0 件

実績：0 件

高齢者や子どもに関係する施設等の健康危機管理強化に対する支援や生活衛生及び動物の愛護に関する正しい情報を発信することで、食中毒予防や犬による咬傷事故防止など、区民の安全で安心な生活が実現するよう取り組みました。

(1) 食と暮らしの衛生サポート事業

ア 高齢者や子どもに関係する施設の衛生確保

保育園、小学校等の調理室の簡易拭き取り検査《65 施設》

イ 食中毒、感染症予防対策

(ア) 食中毒予防キャンペーン

開催日：9 月 28 日

参加数：約 500 人

(イ) 感染症対策指導者養成研修会

開催日：9 月 25 日、10 月 3 日

参加数：79 人

ウ 食と暮らしの衛生に関する情報発信

(ア) 衛生講習会（区民、施設従事者対象の出前講座）

実施数：38 回

参加数：643 人

(イ) 手洗い講座

実施数：20 回

参加数：191 人

(ウ) 食中毒・衛生害虫・災害時ペット対策のパネル展

食中毒：6・10・12 月

衛生害虫：6 月

災害時ペット対策：10・11・3 月

薬物乱用防止：6・10・12 月



「アシナガバチの巣」

	エ 衛生害虫等対策 (ア) 広報でのハチ・蚊等に関する啓発《広報区版 5 月号》 (イ) ハチの巣駆除機器の貸出し 貸出件数：8 件 (2) 犬や猫の適正飼育等普及事業 ア 動物適正飼育に関する啓発 (ア) 犬や猫の適正飼育啓発資料の配布 (イ) 適正・終生飼育講演会【オンライン・対面併用開催】 開催日：11 月 20 日 参加数：51 人 テーマ：ペットが長生きしてくれたら (ウ) 長寿犬表彰 開催日：11 月 20 日 表彰頭数：80 頭 イ 猫の飼育問題解決支援事業 (ア) 猫の適正飼育支援（猫侵入防止機器の貸出し） 貸出台数：14 台 (イ) 地域猫活動の支援
--	--

Ⅲ 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

【予算額：30,027,000円】

【決算額：25,913,279円】

事業名	事業内容				
20 磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業 重点 [予算額：9,510,000 円] [決算額：8,543,924 円] ＜福祉保健課＞ <table><tr><td>【アウトカム指標(全)】</td></tr><tr><td>各地区事業実施数</td></tr><tr><td>目標：100事業</td></tr><tr><td>実績：101事業</td></tr></table>	【アウトカム指標(全)】	各地区事業実施数	目標：100事業	実績：101事業	「第4期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」（令和3年度～7年度）の推進のため、地域の福祉保健活動の支援や計画の普及啓発を行いました。また、「誰もが幸せに暮らせるまち」の実現を目指して、第5期計画（計画期間：令和8年度～12年度）を策定しました。 (1) 第5期計画策定事業 ア 第5期計画策定支援委託 第5期計画策定に向けた、意見集約や計画原案策定等の業務委託 イ 策定・推進検討会の開催 各地区の代表や各種団体からなる第5期計画の策定等に係る意見交換 開催日：7月24日、10月23日、2月26日 委員数：31人 (2) スイッチON磯子支援事業 地域福祉保健活動に対する補助《101事業》 活動を推進するための会議運営や地域福祉活動の取組に対する補助金の交付 (3) スイッチON磯子普及啓発事業 スイッチON磯子認知度向上や第5期計画の策定に子どもの意見を反映するため、磯子まつり等のイベントにおいてアンケートを実施
【アウトカム指標(全)】					
各地区事業実施数					
目標：100事業					
実績：101事業					



「策定・推進検討会の様子」



「策定・推進検討会の様子」

21 子育て応援事業

重点

[予算額：5,122,000 円]

[決算額：4,856,549 円]

<こども家庭支援課>

【アウトカム指標(全)】

子どもの育てにくさを感じている保護者のうち、解決方法を知っている方の割合

目標：83%

実績：81.5%

地域の子育て支援団体・機関と連携し、妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援を進め、“子育てしやすいまち磯子”の実現を目指しました。地域子育て支援拠点「いそピヨ」の日曜日開所や地域へのアウトリーチなど、養育者のニーズに対応した取組の充実化を図りました。

(1) いそピヨ機能強化事業 (Sunday いそピヨ) 新規

地域子育て支援拠点（いそピヨ）の日曜日開所「Sunday いそピヨ」をスタートさせるとともに、地域へのアウトリーチを実施しました。さらに、男性の育児参加を促進する講座を拡充しました。

《4、9月を除く月1回（アウトリーチ会場2か所含む）10回※》

※7月は滝頭地域ケアプラザ、1月は上笹下地域ケアプラザでのアウトリーチを実施

参加数：742人

（うち、保護者等390人；父親141人・母親234人・その他家族15人、子ども352人）

(2) 出産育児応援事業

ア プレパパ出産育児教室

開催日：6月28日、10月4日、2月14日

参加数：109人

イ あかちゃん教室（11会場）《各会場原則10回》

実施回数：103回

参加数：1,203人

ウ 授乳相談《月1回》

(3) 地域で子育て応援事業

ア 磯子区オリジナルアルバム配布、手形・足形スタンプ配置

新たな家族を迎えたご家庭に、メッセージや手形・足形の成長記録を残せるオリジナルアルバムを配布（手形・足形用のスタンプ台は、あかちゃん教室、地域子育て支援拠点等に設置）



「Sunday いそピヨの様子
（滝頭地域ケアプラザ）」



「プレパパ出産育児教室
を受講するパパ・ママ」

- イ 子育て応援マップ「いそっこマップ」の配布
区内7エリアごとの子育て情報を掲載した「いそっこマップ」を、
子育て世帯が利用する機関や施設等で配布
- ウ 障害児支援ネットワーク
障害児への理解や支援を推進するための交流会等を実施
開催日：5月22日、9月18日、1月15日
- エ 子育て支援連絡会
保育園、親と子のつどいの広場、地域ケアプラザ等が参加し、地域
子育て支援拠点と連携して子育てネットワークを強化
地区別連絡会：7月3・4・23・24日
全体連絡会：2月9日
- オ 保育ボランティア研修・配置事業
区内の保育ボランティアグループに研修を実施し、区の行事等での
保育協力を依頼
開催日：7月12日、12月3日



「子育て支援連絡会の様子」

22 「STOP!こども虐待」事業
 [予算額：2,483,000 円]
 [決算額：2,055,289 円]

<こども家庭支援課>

【アウトカム指標(全)】

児童虐待死ゼロ

目標：0 人

実績：0 人

子どもへの関わり方に悩む養育者を支援するため、子どもとの適切なコミュニケーションについて学ぶ講座の開催や動画配信を行いました。また、児童虐待死ゼロを目指し、養育支援が必要な家庭を地域で支えるネットワークづくりや関係機関との連携強化を図ることを目的とした連絡会を実施しました。

(1) ひろがれ!「ほのぼの子育て」事業

ア 「ほのぼの子育て」講座

子どもとより良い関係を築く際に大切な養育のスキルを体験的に学ぶ養育者向けの実践講座

実施日：6月16日・8月4日、11月1日・11月15日、
 1月17日・2月14日、3月15日

参加数：80 人

イ 「ほのぼの子育て」動画配信・リーフレット作成

(2) エリア別虐待防止連絡会

要保護児童対策地域協議会に位置づけられている実務者会議と個別ケース検討会議とをつなぐエリア別の連絡会を、中学校区ごとに開催し、有識者を講師として招き研修・グループワークを実施《5回》

実施日：9月19日、10月17日、10月31日、
 11月21日、12月5日

参加数：111 人

(3) 親子のための法律相談

母子の権利擁護とともに、DV等から親子の安全を守るために、区役所で弁護士による専門相談を実施《6回》

参加数：12 人



「ほのぼの子育て講座の受講者」



「ほのぼの子育て動画」



「児童虐待防止リーフレット『今日からできる ほのぼの子育てのヒント♪』」

地域子育て支援拠点「いそぴょ」事業【こども青少年局から再配当】

地域子育て支援拠点では、就学前の子どもとその保護者が遊びながら交流できるスペースを提供するとともに、子育て相談、子育て情報の提供などを行いました。利用登録のうえ、無料で利用できる施設で、子育て支援に関わる方のための研修会や子どもの預かりなども実施しました。

< 7つの機能 >

子育て家庭のために	(1) 遊んで、交流のできる場を提供します（親子のひろば） (2) 子育ての不安や悩みの相談をお受けします（子育て相談） (3) 子育てのいろいろな情報を集め提供します（情報の収集・提供事業）
子育て支援者のために	(4) 支援者のネットワークをつくれます（ネットワーク作り） (5) 支援者向けの研修会などを行います（人材育成機能）
地域の中での子どもの預かり合いの促進	(6) 横浜子育てサポートシステム事務局の運営を担います
地域で子育て家庭を支えるために	(7) 横浜子育てパートナーが親子をサポートします

児童虐待防止啓発地域連携事業【こども青少年局から再配当】

児童虐待防止に関する広報・啓発を行うとともに、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりを推進しました。

- (1) 児童虐待防止啓発地域連携事業《関係機関向け講演会 1月30日》
- (2) 区要保護児童対策地域協議会実務者会議《代表者会議 7月2日、2月4日》
- (3) 児童虐待防止のための区民向け啓発
 - ア パネル展示《11月10日～11月14日》
 - イ プレパパ出産・育児教室での乳幼児揺さぶられ症候群予防啓発《6月28日、10月4日、2月14日》
 - ウ 啓発物品購入（歯ブラシ、缶バッチ、ウェットティッシュ）

23 保育園地域子育て支援事業

[予算額：836,000 円]

[決算額：872,814 円]

<こども家庭支援課>

【アウトカム指標(1)】

育児講座・育児イベント
参加者満足度

目標：95%

実績：95.38%

未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむため、市立保育園（東滝頭、洋光台第二）の保育施設を活用した子育て支援事業を実施することで、親と子のふれあいや地域とのつながりを醸成し、子育て中の家庭を支援しました。また、園児が保育園で花・野菜を栽培・展示するなど、地域の“緑や花”をきっかけに支援の輪を拡げるとともに、横浜グリーンエキスポの機運醸成を進めました。

(1) 育児支援事業

ア ログハウス等地域施設への保育職員による出前保育事業

実施数：29 回、参加数：328 人

イ 地域での育児支援イベントの開催

開催日：6 月 23 日、10 月 21 日、11 月 17 日

参加数：152 人

ウ 絵本や紙芝居の読み聞かせ、絵本の貸し出しコーナーの設置

エ 育児講座の開催や親子の居場所・仲間作りの場の提供

(ア) 育児講座

実施数：9 回、参加数：127 人

(イ) 仲間作りの場の提供

実施数：23 回、参加数：321 人

オ 「磯子区オリジナルアルバム」を持って市立保育園に遊びに来た

家庭向けに手形・足形用のスタンプ台を設置

(2) 食育推進事業（すくすく・もぐもぐ相談事業）

ア 給食体験と育児相談の実施

(ア) 給食体験

実施数：14 回、参加数：28 人

(イ) 育児相談

実施数：1,028 回

イ 給食レシピの配布及びホームページでの掲載



「育児支援イベント
『いそっこあつまれ！！』の様子」

	(3) 花いっぱい 野菜いっぱい あったか保育園事業 拡充 ア 市立保育園での花・野菜の栽培と展示 イ 栽培した花の区庁舎展示と種の配布 開催期間：10 月 9 ～24 日 ウ 民間保育園や地域の親子、高齢者等と交流し、横浜グリーンエクス ポ PR 用のピック等を添えた苗を配布 実施数※：335 回 ※園児が育てた花苗を地域住民に配布した回数、民間保育園や高齢者施設等に届けた 回数等の合計	 『『トウントウントウ』の シールを貼った手作りピック』				
24 青少年育成活動助 成事業 [予算額：860,000 円] [決算額：475,000 円] <地域振興課> <table><tr><td>【アウトカム指標(2)】</td></tr><tr><td>磯子区子ども会連絡協議 会への磯子区小学生の加 入率</td></tr><tr><td>目標：20%</td></tr><tr><td>実績：18%</td></tr></table>	【アウトカム指標(2)】	磯子区子ども会連絡協議 会への磯子区小学生の加 入率	目標：20%	実績：18%	青少年育成を目的とした団体が行う事業に対して補助を行うことで、活動の推進、青少年が健全に育成さ れる環境づくりを促進しました。 (1) 青少年育成活動への支援《4 事業交付》 ふれあいハイキング事業、夏季キャンプなど (2) 磯子区子ども会連絡協議会への支援 磯子区子ども会連絡協議会が行う研修会やサマーキャンプ等の 事業に対する補助の実施	 「サマーキャンプ」
【アウトカム指標(2)】						
磯子区子ども会連絡協議 会への磯子区小学生の加 入率						
目標：20%						
実績：18%						

25 区民の健康づくり
応援事業

[予算額：2,929,000 円]

[決算額：3,402,619 円]

<福祉保健課>

【アウトカム指標(全)】

平均自立期間
(日常生活に介護を要し
ない期間の平均)

目標：延伸
(参考値)

男：79.25年

女：83.68年

(令和5年・磯子区)

実績

(参考値)

男：79.70年

女：83.62年

(令和6年・磯子区)

健康寿命の延伸を目指し、区民が自ら健康づくりに取り組めるように、知識や技術の普及・啓発、身近な地域での健康づくり活動を支援しました。

(1) 出張！健康づくり応援隊

保健師・栄養士・歯科衛生士が地域の方と協力して地域での催し等に出張し、生活習慣改善につなげるための相談やイベントを実施（640人参加）

ア 日清オイリオ横浜磯子春まつり

開催日：4月19日

参加数：312人

イ 歯と口の健康週間行事

開催日：6月12日

参加数：108人

ウ 杉田劇場夏まつり

開催日：8月23日

参加数：220人

(2) がん検診・特定健診啓発事業

ポスター掲示、パネル展等を通じたがん検診・特定健診の啓発

5月の「母の日」に合わせ、区内生花店と連携して乳がん検診の啓発活動のための啓発グッズ配布（640個）。

(3) 保健活動推進員関連事業

ア 保健活動推進員研修

参加数：94人

(ア) 1回目 開催日：5月21日

参加数：31人

テーマ：はじめての体力測定



「出張！健康づくり応援隊/
日清オイリオ横浜磯子春まつりでの
血管年齢測定の様子」



「がん検診啓発事業/協力生花店での
乳がん検診啓発グッズ配布の様子」

	(イ) 2回目 開催日：6月23日 参加数：36人 テーマ：コオディネーショントレーニングを学ぼう (ウ) 3回目 開催日：11月13日 参加数：27人 テーマ：アルコールと健康について イ 保健活動推進員活動支援 地域のウォーキングイベントや健康チェック等の支援 (4) 食生活等改善推進員周年記念事業 新規《4月30日》 令和7年度に活動60周年を迎えた磯子区食生活等改善推進員の記念式典で感謝状を授与 (5) 乳幼児の「食」応援事業 ア 出張栄養相談《月1回 12回》 参加数：55人 イ はじめての離乳食教室《月1回 12回》 参加数：78組 ウ おいしいお話よみきかせ 開催日：4月24日、10月30日 参加数：19組 (6) 区民の「健口」応援事業 ア おやこ歯っぴー教室《6回 5、7、9、11、1、3月》 (5月はSunday いそピヨと連携して実施) 参加数：44組 イ 磯子区歯科医師会との連携会議 開催日：11月6日
--	--

26 高齢者みんなで支えるまちづくり事業
[予算額：2,014,000 円]
[決算額：1,860,871 円]

<高齢・障害支援課>

【アウトカム指標(1)】

平均自立期間
(日常生活に介護を要しない期間の平均)

目標：延伸
(参考値)

男：79.25年

女：83.68年

(令和5年・磯子区)

実績

(参考値)

男：79.70年

女：83.62年

(令和6年・磯子区)

介護予防・健康づくりや認知症の方を地域で見守る体制づくり、高齢者が一人で悩まず誰かにつながる地域づくりを進めることで、横浜型地域包括ケアシステムを推進し、健康寿命の延伸や、高齢者一人ひとりが可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることを目指して取り組みました。

(1) フレイル予防

ア 磯子まつり等にて、フレイル予防の啓発や地域の通いの場等について案内

イ フレイル予防動画「磯子けんこう体操」のインターネット配信、DVD・リーフレットの配布

(2) 認知症普及啓発

ア 磯子区認知症高齢者あんしんネットワーク事業

(ア) 磯子区認知症事業・高齢者虐待防止連絡会

開催日：12月4日

参加数：32人

(イ) 認知症の理解を深めるためのリーフレット増刷

印刷部数：4,000部

イ 区民理解の促進

(ア) 認知症サポーター養成講座を実施

実施数：27回

参加数：1,387人

(イ) 啓発用ハンドタオルを作成・配布

ウ 普及啓発講演会

認知症当事者等による講演会を実施

開催日：11月14日

参加数：68人

テーマ：MCIってなんだろう？～早期発見・早期診断・早期対応～地域社会とつながり笑顔で暮らす



「いそごフレイル予防 DAY」



「普及啓発講演会

『認知症サポーター養成講座』

	(3) 「つながるマグネット」事業 ひとり暮らし高齢者等が、困り事を自ら相談し、「つながる」ことができるよう、お住まいの地域のケアプラザと区役所の連絡先を記載した「つながるマグネット」を作成しました。配布については、地域ケアプラザや区役所の支援の対象となっていない方で、現時点では自立されているなどの理由で民生委員の訪問を希望されていない方 267 人に郵送しました。《12 月》	困ったときは連絡を!  根岸地域ケアプラザ 045-751-4801 磯子区役所 高齢・障害支援課 045-750-2417 「つながるマグネット」
--	--	---

元気づくりステーション 【健康福祉局から再配当】

「歩いて行ける身近な場所で仲間と介護予防に取り組む自主的なグループ活動」

第9期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画において、元気づくりステーション等のグループ活動を広げ、介護予防の取組を推進することが位置づけられています。磯子区では令和7年度、26のグループが活動しました。

- (1) 区保健師と地域包括支援センターの看護職が連携し、新規グループの立ち上げや既存グループの活動の活性化支援
- (2) 区内元気づくりステーションの情報マップ等を活用した地域に向けた情報提供
- (3) フレイル予防普及啓発のためのフレイル予防サポーター人材育成研修の実施

開催日：11月25日、12月2日、12月9日

**27 障害者地域生活サ
ポート事業**
[予算額：1,351,000 円]
[決算額：1,224,591 円]

<高齢・障害支援課>

【アウトカム指標(1)】
支援者学習会参加者数
目標：170人
実績：136人

障害者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる地域共生社会を目指して、障害者の支援に関わる関係機関のネットワークにより、障害者の地域生活課題を抽出し、課題解決を図るとともに、支援者のスキルアップのための学習会を開催しました。また、障害理解の促進に向けた区民向け普及啓発を行いました。

(1) 障害者相談支援ネットワーク事業

ア 支援者学習会

開催日：①10月8日、②12月19日、③2月19日

参加数：①47人、②44人、③45人

イ 障害者の防災の取組に関する啓発・意見交換

(2) 障害者週間等普及啓発

ア 障害者施設自主製品紹介冊子「いそごでさがそ」の改訂及び
駅等への障害事業所の通所者による配架

イ 区民ホールにおける障害者施設自主製品販売「こすもすショップ」
《全27回実施済 4～3月》

ウ 障害者週間パネル展
開催日：12月3日～9日



「こすもすショップ」

磯子区精神障害者生活教室（すみれ会） 【健康福祉局から再配当】

こころの病気を抱える方の社会復帰・社会参加の支援のため、レクリエーションやスポーツ、創作活動などを区役所の会議室や公園等で実施しました。《月4回程度》

自殺対策事業 【健康福祉局から再配当】

自殺の現状や自殺対策について広く普及啓発するため、高齢・障害支援課、福祉保健課、生活支援課が合同で、自殺予防週間（9/10～16）に合わせて、自殺予防週間パネル展等を実施しました。《9月5日～18日》

28 多文化共生推進事業 **重点**

[予算額：2,322,000 円]

[決算額：2,400,200 円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(2)】

ラウンジ利用者数（イベント参加者数等含む）

目標：3,500人

実績：2,809人

「多文化共生を通して、誰もが地域で安心して力を発揮できる磯子」の実現を目指し、多文化共生の拠点である「いそご多文化共生ラウンジ」を活用しながら、地域団体や学校等との連携による取組を推進しました。

(1) 多文化共生環境整備事業

区役所窓口へのテレビ電話通訳タブレット及びポケトーク端末の運用

《タブレット5台、ポケトーク17台》

(2) 多文化共生推進のための連携事業

いそご多文化共生ラウンジが地域団体や学校等と連携し、地域の抱える課題に対応するためのアウトリーチを通じた多文化共生の推進

ア ごみの分別など地域課題への取組

開催日：8月8日、10月18日・25日

参加数：340人（外国人ボランティアによるごみ分別啓発）

イ 外国人住民の地域参加促進

ウ 日本語教室における防災啓発

実施数：7回

参加数：141人



「滝頭地区ふれあい盆踊り
大会でのごみ分別啓発の様子」

いそご多文化共生ラウンジ（国際交流ラウンジ）〈区民利用施設管理費 15,844,600 円〉

今後も増加が見込まれる外国人区民への対応を進め、更なる多文化共生の実現を目指しました。

<主な機能>

- ・外国人市民に対する情報提供・相談機能
- ・国際交流事業、日本語教室事業 など



いそご
多文化共生ラウンジ
ISOGO International Lounge

「いそご多文化共生ラウンジ ロゴ」

29 地域の居場所づくり支援事業

[予算額：2,600,000 円]

[決算額： 221,422 円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

居場所を活用した地域活動実施回数

目標：36回

実績：36回

居場所を活用した地域活動実施回数を増やすことで、多世代による多様な地域活動を活発にし、地域における顔の見える関係づくりを進めるため、地域交流の場や居場所づくりを進める団体に対して、空き家や空き店舗、住居の空き部屋等を活用した活動などのための補助金を交付しました。

磯子区地域の居場所づくり支援補助金交付事業
《新規1団体、継続1団体、参加数315人》



「YOROZUYA
(3Dプリンタ入門講座)」

議題2 令和8年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行状況について

- 1 予算総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
- 2 主要事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
- 3 自主企画事業等執行状況一覧・・・・・・・・・・・・・76



令和8年9月
磯子区

1 予算総括表

(単位：千円)

区 分	予 算 額
自主企画事業費 【25事業】	95,208
I とともに創り、祝う区制100周年 ～地域の力と魅力にあふれるまち～ 【12事業】	56,760
II 安心・安全なまち 【4事業】	14,042
III 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち 【9事業】	24,406
統合事務事業費	48,549
統合事務費	26,215
統合事業費	22,334
区庁舎・区民利用施設管理費	796,614
合 計	940,371

CITY OF YOKOHAMA

2 主要事業一覧

令和8年 第3回
区づくり推進横浜市会議員会議

令和8年度 主要事業一覧



横浜市



磯子区 令和8年度 主要事業一覧

ともに創り、祝う区制100周年 ～地域の力と魅力にあふれるまち～

I

- ・ 磯子区制100周年記念事業
- ・ 脱炭素・GREEN×EXPO 2027推進事業
- ・ 区の魅力創出・発信事業
- ・ 区政推進事業

II

安心・安全なまち

- ・ 地域と一緒に作る防災・減災事業
- ・ 地域・学校防犯力強化事業

III

子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

- ・ 磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業
- ・ 子育て応援事業
- ・ 区民の健康づくり応援事業



I ともに創り、祝う区制100周年 ～地域の力と魅力にあふれるまち～

12事業 56,760千円

(1) 磯子区制100周年記念事業 (p. 76-79)

重点

新規

6,800千円

区民・区内事業者等で構成する磯子区制100周年記念事業実行委員会とともに、磯子区のさらなる魅力発信に取り組み、住みたい・住み続けたいまちの実現を目指します。

区の実施（6事業）

- ① いそご「百彩パネル」制作事業
- ② 「スイッチON磯子」スタンプラリー事業
- ③ デザインマンホール事業
- ④ 100年今昔フォト事業
- ⑤ 100周年機運醸成事業
- ⑥ 100周年記念事業
実行委員会支援事業



(1) 磯子区制100周年記念事業 (p. 76-79)

① いそご「百彩パネル」制作事業

磯子の「過去」「現在」「未来」を表現する100の要素を盛り込んだデザイン画をイラストレーターが制作し、「百彩パネル」として杉田劇場内へ設置します。

パネルは、一部のみ着色した状態で仕上げ、設置後は「ぬりえ」として、来館された皆様がペンで色を塗ったり消したりして、繰り返し楽しむことができます。

また、制作の様子は「ISOGO+」等で発信していきます。



イメージビジュアル ©イクタケマコト

「百彩パネルイラストイメージ」

<これまでの経過>

- ・令和7年11月～令和8年2月「磯子の思い出」を一般募集
- ・令和8年1～3月 3小学校でワークショップ実施
- ・令和8年6～7月 全9地区の皆様と意見交換
- ・令和8年7～9月 3小学校でワークショップ実施

<今後の予定>

- ・令和9年2月 デザイン画完成
- ・令和9年9月 百彩パネル完成予定

※大きさは幅約4m、高さ約2m



イメージビジュアル ©イクタケマコト



「百彩パネルワークショップ」

(1) 磯子区制100周年記念事業 (p. 76-79)

② 「スイッチON磯子」スタンプラリー事業

「スイッチON磯子」の認知度向上や理解促進を図り、あわせて区制100周年の機運を醸成するため、地域ケアプラザ等を巡り、クイズ形式で楽しみながら地域福祉保健を学べるスタンプラリーを実施します。

<実施内容>

- ・ 時期：令和8年10月～12月
- ・ 内容：次の①～③のそれぞれでスタンプを獲得。
スタンプを3つ集めた方に記念グッズをプレゼント。
①地域イベント（活動等）や地域ケアプラザのイベントに1回参加
②区内地域ケアプラザのいずれか1か所を訪問し、クイズに回答
③区社会福祉協議会または区役所を訪問し、クイズに回答
- ・ メインターゲット：小学生・中学生とその保護者



「スタンプラリー台紙イメージ」

(1) 磯子区制100周年記念事業 (p. 76-79)

③ デザインマンホール事業

区独自の区制100周年デザインマンホールを製作し、区役所前や駅前などに設置します。

「ISOGO+」等での情報発信により、設置場所の情報提供と区制100周年をPRし、地域への関心と交流を促進します。



「100周年デザインマンホール」

※ 令和9年3月までに、区内26カ所に設置予定

(うち、6カ所は自主企画事業費、20カ所は下水道河川局予算で実施予定)

＜設置場所（予定）＞

①区役所前 ②JR磯子駅前 ③JR新杉田駅前 ④京急杉田駅前

⑤はまぎんこども宇宙科学館前 ⑥岡村公園

その他20カ所は、JR根岸駅前・JR洋光台駅前・区内小中学校近辺などで調整中

＜設置場所選定方法＞

- ・ 区役所、鉄道駅、学校周辺など、区民の目に触れやすい場所であること
- ・ 本市が管理する歩道上にあること
- ・ 区民の通行等の安全上支障のない場所であること



(1) 磯子区制100周年記念事業 (p. 76-79)

④ 100年今昔フォト事業

過去と現在の風景を写真で対比し、歴史に思いを馳せるとともに、100歳以上の区民（公募）を撮影した写真とメッセージの紹介を通じて、地域と人の魅力を次世代に伝え、地元への愛着をさらに深めます。

「100年今昔フォト」

- ・ 令和8年4月～ 写真収集・撮影
- ・ 令和8年10～12月 パネル製作

「100歳の笑顔フォト」

- ・ 令和8年6～7月 100歳以上の区民の募集
- ・ 令和8年8～12月 撮影・パネル製作

「国道16号屏風ヶ浦交差点
(昭和30年頃)」



「参加者募集ちらし
イメージ」



- ・ 令和9年1月
- ・ 令和9年1月以降

新年賀詞交換会でお披露目
区内展示



(1) 磯子区制100周年記念事業 (p. 76-79)

⑤ 100周年機運醸成事業

100周年記念グッズの製作、窓口装飾、広報物へのロゴマーク印刷などを行うことにより区制100周年の周知とともに、100周年を祝う機運醸成を図ります。

100周年ロゴ缶バッチを区役所職員全員で着用し、来庁者等への周知を進めています。【7月】

(参考：令和7年度実施分)



「100周年ロゴ缶バッジ」



「区役所エスカレーター等装飾」

⑥ 100周年記念事業実行委員会支援事業

実行委員会に補助金を交付し、実行委員会が実施する100周年に向けた取組を支援します。

<参考：実行委員会での取組>

- ・ 令和8年7月～ 横断幕・のぼり旗を作成・地域に配布
- ・ 令和8年9月～ 「磯子区制100周年記念事業」募集開始
(ロゴマーク使用、のぼり旗貸与等)



「のぼり旗」



(1) 磯子区制100周年記念事業 (p. 76-79)

【参考】 その他100周年関連取組一覧 (その1)



100周年関連 イベント等の開催

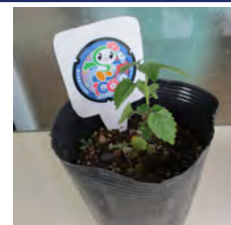
- ・ 区制100周年記念 読書活動推進講演会を開催【2月】
- ・ 地域子育て支援拠点「いそピヨ」及び
親と子のつどいの広場（6か所）に
区制100周年記念デザインの
フォトブースパネルを巡回設置
【9月～3月予定】



「フォトブースパネルイメージ」

横浜グリーンエクスポ との連携

- ・ 区役所前の花時計及び駅前花壇を
区制100周年記念ロゴマーク入り
ピックで装飾【8月】
- ・ 保育園児が育てた苗に区制100周年記念
ロゴマーク入りピックを付けて地域へ配布



「『100周年デザインマンホール』
のシールを貼った手作りピック」



(1) 磯子区制100周年記念事業 (p. 76-79)

【参考】 その他100周年関連取組一覧 (その2)



カテゴリー	取組内容
デジタルコンテンツ による情報発信	『ISOGO+』で区制100周年にちなんだ情報発信やイベントを実施 - 区制100周年記念の映像コンテンツを作成し、デジタルサイネージ等で放映
区制100周年記念 ロゴマーク・ キャッチフレーズを 活用したPR	- 赤ちゃんの誕生記念に配布している磯子区オリジナルの手形・足形アルバムに区制100周年記念カバーを付けてプレゼント【10月～予定】 - 各種の広報媒体や配布物へ区制100周年記念ロゴマークやキャッチフレーズを刷り込み



「『磯子の逸品』募集特集記事」

(2) 脱炭素・GREEN×EXPO 2027推進事業 (p. 76-79)



横浜市

重点

拡充

6,618千円

区内企業等と連携し、主に未来を担う子どもたちに対して循環型社会・脱炭素社会への理解を深める啓発等を実施するとともに横浜グリーンエキスポの機運醸成を図ります。

啓発イベントや講座の実施

- ・ 磯子事業会と連携した「いそご夏休みエコ講座」【7～8月】
＜回数・場所＞計3回（磯子センター、杉田地区センター、根岸地区センター）
＜参加者＞計76人
＜内容＞
 - ・ 燃料電池ってなんだろう？～地球温暖化を防ぐためにわたしたちができること（東京ガス株式会社）
 - ・ 森や土のはたらき（株式会社IHI、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所）
- ・ 横浜グリーンエキスポの開幕に合わせた「いそごこどもエコフェスタ」の実施【3月】



「いそご夏休みエコ講座」



「花時計を使ったPR」

花時計・駅前花壇を使ったPR

- ・ 区役所前の花時計及び駅前花壇に横浜グリーンエキスポ及び区制100周年をPRするピックの設置【8月】

(2) 脱炭素・GREEN×EXPO 2027推進事業 (p. 79-80) 横浜市

【参考】その他GREEN×EXPO 2027関連取組一覧（その1）

カテゴリー	取組内容
 横浜グリーンエクスポイベント等の開催	 ・横浜グリーンエクスポロゴ入りピック付の保育園児が育てた苗の地域への配布 「『トウナウトウナク』のシールを貼った手作りピック」
 ロゴ・キャッチフレーズを活用したPR	・各種広報・啓発物品への横浜グリーンエクスポロゴ印刷
 横浜グリーンエクスポシドモア桜の育成	・横浜グリーンエクスポ開催500日前を記念して令和7年11月に「堀割川いそご栈橋」に植樹したシドモア桜（ソメイヨシノ）の育成  「シドモア桜の生育状況」



(3) 区の魅力創出・発信事業 (p. 81)

重点

5,200千円

磯子区への愛着や誇りを育み、住み続けたい、訪れたいと思ってもらえるまちを目指すため、磯子区制100周年及び横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成と区の魅力創出・発信を一体的に行います。

区の魅力情報発信事業

- 「磯子の逸品」の追加認定の実施
令和8年6～7月 推薦商品の募集
令和8年9月中旬頃～10月 投票
(20品程度による決選投票)
令和9年1月 追加認定商品の公表(10品程度)
- 「ISOGO+」における100周年関連コンテンツ拡充

堀割川の魅力発信

- 堀割川と大岡川、中村川や根岸湾をつなげるイベント等を実施【9～3月】



「魅力発信サイト『ISOGO+』」



「堀割川でのイベントの様子(R7)」



(4) 区政推進事業 (p. 87)

新規

9,774千円

区民ニーズを踏まえた行政運営を行っていくために区民意識調査を実施します。生活満足度や磯子区への愛着をはじめ、生活環境や地域活動等について分析します。

区民意識調査

- ・ 区民ニーズを把握するため、アンケート調査を実施【6月実施済】

◆調査概要

調査対象：満18歳以上の磯子区民

抽出人数：3,500人

抽出方法：単純無作為抽出（住民基本台帳）

回答方法：インターネットまたは郵送による

回収数：1,645件（回収率 47.0%）※速報値

＜参考＞R5年度調査：回収数1,485件（回収率 42.4%）

◆設問の例

Q あなたにとって、磯子区は暮らしやすいまちだと思いますか？

Q 区役所が取り組む課題として、あなたにとって何が特に重要だと思いますか？



- ・ 今後の区政運営の参考とするため、調査結果を分析し公表【1月】



Ⅱ 安心・安全なまち

4 事業 14,042千円



(5) 地域と一緒に作る防災・減災事業 (p. 89-92) 横浜市

重点

拡充

8,930千円

地域が主体となっていく防災訓練の支援、区民の自助・共助の意識向上や取組促進を目的とした啓発などを行うことで、災害時への備えを実施している区民を増やし、減災につなげます。

防災講座

【30回】 申込15回（7回実施済）

- ・ 地震や風水害に対する備えや避難行動等に関する出前講座
- ・ いそご多文化共生ラウンジと連携して、新たに在住外国人も対象に実施



「小学校で実施した防災講座（R8）」

地域防災アドバイザー派遣

【10団体】 申込6団体

- ・ 町の防災組織が抱える課題解決のため専門家を派遣
- ・ 派遣対象を地域防災拠点にも拡大（屏風浦小学校派遣）



「地域防災アドバイザー派遣（R7）」



(5) 地域と一緒につくる防災・減災事業 (p. 89-92)



横浜市

重点

拡充

8,930千円

災害時でも安定した通信環境が確保できる地域BWA等を活用し、医療機関などと連携した訓練を実施します。

さらに、発災時にペット同行避難が円滑に進むよう、地域防災拠点において、実際にペットが参加する訓練を、区内4か所で実施します。

災害時医療連携事業

- 医療機関等と連携した訓練
- ・ 災害医療合同訓練【2月】
 - ・ のぼり旗掲出訓練【10月】
 - ・ 情報受伝達訓練【隔月】



「災害時医療合同訓練（R7）」

ペット防災の推進

- ・ 地域防災拠点が実施するペット同行避難訓練の支援【1～2月・4か所】



「ペット同行避難訓練」

(6) 地域・学校防犯力強化事業 (p. 93)

重点

1,750千円

区民が暮らしやすい「安心して安全なまち」を実現するため、地域や警察と連携し、犯罪を未然に防ぐための防犯対策の取組を進めます。特に、地域が主体的に行うパトロールの支援に重点的に取り組んでいます。

防犯活動支援事業

- ・ 地域への防犯活動物品の貸与
【R 8 貸与団体数（8月末時点）：37団体】
※ R 7 貸与団体数：51団体
- ・ 安全安心メールを活用した防犯の啓発
- ・ 磯子警察署と連携した特殊詐欺等防止の取組

安全・安心まちづくり推進協議会運営

- ・ 功労者表彰の実施【10月】
- ・ 中学生ポスターコンクールの作品募集【6～8月】、
表彰式の実施及び優秀作品の掲示による地域への啓発【10月～】



「洋光台連合防犯パトロール（R8）」





Ⅲ 子どもから高齢者まで 誰もが暮らしやすいまち

9事業 24,406千円



(7) 磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業（p. 96）



横浜市

重点

拡充

6,512千円

第5期スイッチON磯子（計画期間：令和8～12年度）に基づき、基本理念である「誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす」の実現を目指します。

また、子どもの意見を事業に反映させるため、新たにこどもワークショップ等を開催します。

地域の取組

- ・各地区での地域福祉保健活動に対する補助

普及啓発

- ・ 11月13日 地域福祉保健に関する講演会

子どもの意見の反映

- ・ こどもワークショップの開催
 - <日程> 8月20日
 - <参加者> 小学2～6年生 22人
- ・ 出前授業
 - <時期> 10～3月
 - <対象> 小学校高学年を対象に実施予定



「ふれあい運動会（磯子地区）（R8）」



「こどもワークショップ（R8）」



(8) 子育て応援事業 (p. 97-98)

重点

拡充

6,102千円

妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援を進め、
保護者が子育てに関する相談をしやすい環境を作ることで、
“子育てしやすいまち 磯子”の実現を目指します。

Sundayいそピヨ推進事業 【月1回】

- ・「いそピヨ」の日曜日開所（Sundayいそピヨ）及び男性も参加しやすいイベントの実施を年12回へ拡大
- ・アウトリーチによる知名度向上や相談体制の充実
 - 9月27日 磯子地域ケアプラザ
 - 11月8日 上中里地区センター
 - 1月17日 根岸地域ケアプラザ

「いそっこマップ」の改訂

- ・様々な子育て情報を提供する「いそっこマップ」を最新情報にアップデート【9月】



「Sundayいそピヨ（R8）」



「いそっこマップ
（令和8年9月発行）」



(9) 区民の健康づくり応援事業 (p. 103)

重点

拡充

2,870千円

区民が自ら健康づくりに取り組めるよう知識等の普及・啓発のほか、身近な地域での健康づくり活動を支援することで、健康寿命の延伸を目指します。

出張！健康づくり応援隊

- ・保健師・栄養士・歯科衛生士が地域の催し等に出張地域の方と協力して生活習慣改善につなげるための相談やイベントを実施

4月19日 日清オイリオ横浜磯子春まつり 419人参加

6月18日 歯と口の健康週間イベント 180人参加

8月22日 杉田劇場夏まつり 260人参加

9月27日 磯子まつり（予定）



「出張！健康づくり応援隊/日清オイリオ横浜磯子春まつりでの歯むかチェックの様子（R8）」

がん検診・特定健診啓発事業

- ・パネル展等を通じたがん検診・特定健診の啓発
区内協力生花店と連携した乳がん検診啓発【10月】



「がん検診啓発事業/協力生花店での乳がん検診啓発グッズ配布の様子（R7）」



明日をひらく都市

OPEN  PIONEER

YOKOHAMA

3 自主企画事業等執行状況一覧

【重点】：重点事業、【新規】：新規事業、【拡充】：拡充事業】

I ともに創り、祝う区制100周年 ～地域の力と魅力にあふれるまち～

【12事業 56,760千円】

令和9年に迎える磯子区制100周年を、区民の皆さまと盛大に祝う記念事業がスタートします。100年の歩みを振り返り、まちを築いてきた方々への感謝を込めて、未来へつなぐまちづくりを進めます。また、多様化する地域課題に対応するため、自治会町内会や商店街、事業者と協力し、地域の活性化を図ります。さらに、横浜グリーンエクスポに向け、地域資源を活かした機運醸成や脱炭素の取組を進め、地域の力と魅力にあふれるまちを目指します。

事業名	事業内容
1 磯子区制100周年記念事業 重点 新規 [予算額：6,800千円] ＜総務課＞ ＜区政推進課＞ ＜地域振興課＞ ＜戸籍課＞ ＜税務課＞ ＜福祉保健課＞ ＜高齢・障害支援課＞ ＜こども家庭支援課＞ ＜保険年金課＞	令和9年1月から区制100周年事業がスタートし、同年3月には横浜グリーンエクスポが開催されます。両事業が同時期に開催されることを意識しながら、区民・区内事業者等で構成する磯子区制100周年記念事業実行委員会とともに、磯子区の歴史を振り返り、魅力を発見する事業、子どもたちと笑顔あふれるまちを育む事業を行います。 区制100周年を区民の皆様とともに盛り上げ、区の魅力再発見に繋げ、住みたい・住み続けたいまちの実現を目指します。 (1) いそご「百彩パネル」制作事業 磯子の「過去」「現在」「未来」を表現する100の要素を盛り込んだデザイン画をイラストレーターが制作し、「百彩パネル」として杉田劇場内へ設置します。 パネルは、一部のみ着彩した状態で仕上げ、設置後は「ぬりえ」と  「磯子区制100周年ロゴマーク」

<土木事務所>

【アウトカム指標(全)】

磯子区に対して愛着や誇り
を感じる区民の割合（区
民意識調査）

75.0%

して、来館された皆様がペンで色を塗ったり消したりして、繰り返し楽しむことができます。

また、制作の様子は「ISOG0+」等で発信していきます。

<これまでの経過>

・令和7年11月12日～令和8年2月28日

「磯子の思い出」を一般募集

・令和8年1～3月 3小学校でワークショップ実施

・令和8年6～7月 全9地区の皆様と意見交換

・令和8年7～9月 3小学校でワークショップ実施

<今後の予定>

・令和9年2月 デザイン画完成

・令和9年9月 百彩パネル完成予定

※大きさは幅約4m、高さ約2m



イメージビジュアル ©イクタケマコト

「百彩パネルイラストイメージ」

(2) 「スイッチON磯子」スタンプラリー事業

「スイッチON磯子」の認知度向上や理解促進を図り、あわせて区制100周年の機運を醸成するため、地域ケアプラザ等を巡り、クイズ形式で楽しみながら地域福祉保健を学べるスタンプラリーを実施します。

<実施内容>

・時期：令和8年10月～12月

・内容：次の①～③のそれぞれでスタンプを獲得。

スタンプを3つ集めた方に記念グッズをプレゼント。

①地域イベント（活動等）や地域ケアプラザのイベントに1回参加

②区内地域ケアプラザのいずれか1か所を訪問し、クイズに回答

③区社会福祉協議会または区役所を訪問し、クイズに回答

・メインターゲット：小学生・中学生とその保護者



「スタンプラリー台紙イメージ」

(3) デザインマンホール事業

区独自の区制 100 周年デザインマンホールを制作し、区役所前や駅前などに設置します。「ISOGO+」等での情報発信により、設置場所の情報提供と区制 100 周年を PR し、地域への関心と交流を促進します。

※令和 9 年 3 月までに、区内 26 か所に設置予定

(うち、6 か所は自主企画事業費、20 か所は下水道河川局予算にて実施予定)

<設置場所(予定)>

- ①区役所前、②JR 磯子駅前、③JR 新杉田駅前、④京急杉田駅前、⑤はまぎんこども宇宙科学館前、⑥岡村公園、その他 20 か所は、JR 根岸駅前・JR 洋光台駅前・区内小中学校近辺などで調整中

<設置場所選定方法>

- ・区役所、鉄道駅、学校周辺など、区民の目に触れやすい場所であること
- ・本市が管理する歩道上にあること
- ・区民の通行等の安全上支障のない場所であること

(4) 100 年今昔フォト事業

過去と現在の風景を写真で対比し、歴史に思いを馳せるとともに、100 歳以上の区民(公募)を撮影した写真とメッセージ紹介を通じて、地域と人の魅力を次世代に伝え、地元への愛着をさらに深めます。

ア 100 年今昔フォト

- ・令和 8 年 4 月～ 写真収集・撮影
- ・令和 8 年 10～12 月 パネル製作

イ 100 歳の笑顔フォト

- ・令和 8 年 6～7 月 100 歳以上の区民の募集
- ・令和 8 年 8～12 月 撮影・パネル製作

ア及びイ 令和 9 年 1 月以降 新年賀詞交換会でお披露目及び区内展示



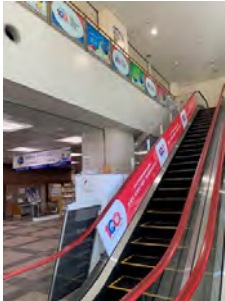
「デザインマンホール」



「国道 16 号 屏風ヶ浦交差点
(昭和 30 年頃)」



「参加者募集ちらしイメージ」

	(5) 100 周年機運醸成事業 100 周年記念グッズの製作、窓口装飾、広報物へのロゴマーク印刷などを行うことにより区制 100 周年の周知とともに、100 周年を祝う機運醸成を図ります。 100 周年ロゴ缶バッジを区役所職員全員で着用し、来庁者等への周知を進めています。《7 月》 (6) 100 周年記念事業実行委員会支援事業 磯子区制 100 周年記念事業実行委員会に補助金を交付し、実行委員会が実施する 100 周年に向けた取組を支援します。 横断幕・のぼり旗を区内各所や地域イベントで掲出し、機運醸成に取り組んでいます。 ＜参考：実行委員会での取組＞ ・令和 8 年 7 月～ 横断幕・のぼり旗を作成・地域に配布 ・令和 8 年 9 月～ 「磯子区制 100 周年記念事業」募集開始 (ロゴマーク使用、のぼり旗貸与等)   左) 区役所エスカレーター等装飾 右) 100 周年ロゴ缶バッジ (参考：令和 7 年度実施分)   左) 横断幕 右) のぼり旗
2 脱炭素・GREEN×EXPO 2027 推進事業 重点 拡充 [予算額：6,618 千円] ＜区政推進課＞ ＜地域振興課＞	区内企業等と連携し、主に未来を担う子どもたちに対して循環型社会・脱炭素社会への理解を深める啓発等を実施し、日常生活における環境にやさしい行動の実践を促すとともに横浜グリーンエキスポの機運醸成を図ります。 (1) 脱炭素推進事業 ア 「いそご夏休みエコ講座」の実施《計 3 回 7・8 月実施済》 磯子事業会と連携し、小学生を対象とした講座を地区センター 3 館で実施  「いそご夏休みエコ講座」

【アウトカム指標(1)】	(ア) 燃料電池ってなんだろう?～地球温暖化を防ぐためにわたしたちができること (東京ガス株式会社)《7月 62人参加》 (イ) 森や土のはたらき (株式会社 IHI、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所)《8月 14人参加》
当課実施イベント・講座 参加者アンケートにおいて環境行動を意識して生活すると回答した人の割合	イ 「いそごこどもエコフェスタ」の実施《3月》 横浜グリーンエキスポの開催を記念するイベントとして子ども向け体験型環境啓発イベントを実施
90%	ウ 区庁舎内の常設展示の活用により横浜グリーンエキスポ及び区制 100 周年の PR を実施 エ 区庁舎及び区内施設における植物発電の展示
	(2) 磯子のまち花いっぱい事業 拡充 ア 区民向けの花の種及び球根の配布《9月》 イ 区役所前の花時計や駅前花壇の植え替えの実施《4回》 ウ 花時計及び駅前花壇で横浜グリーンエキスポ及び区制 100 周年 PR の実施《8月実施済》



「いそごこどもエコフェスタ」(R7)

GREEN×EXPO 広報・推進活動事業【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局から再配当】

横浜グリーンエキスポの機運醸成に向けて、区内での PR の実施

マスコットキャラクター「トウナクトウナク」のモニュメントを商業施設（らびすた新杉田）や市民利用施設（はまぎん こども宇宙科学館）で巡回展示を実施

各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業【みどり環境局から再配当】

地域ケアプラザや地区センター等の区民利用施設にガーデンネックレス横浜や横浜グリーンエキスポを PR する花壇を設置するほか、区内公園愛護会が公園にて区の花コスモスの育成を実施



「トウナクトウナクモニュメント」の展示（らびすた新杉田）」

3 区の魅力創出・発信事業 **重点**

[予算額：5,200 千円]

<区政推進課>

【アウトカム指標(1)】
磯子区魅力発信サイト 閲覧回数
120,000回

磯子区への愛着や誇りを育み、住み続けたい、訪れたいと思ってもらえるまちを目指すため、磯子区制 100 周年及び横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成と区の魅力創出・発信を一体的に行います。

(1) 磯子区の魅力情報発信事業

ア 「磯子の逸品」の追加認定

《6～7月推薦商品の募集（実施済） 9月中旬頃～10月投票、1月追加認定商品の公表》

イ 広報よこはまと連動した「磯子の逸品」クーポン企画の実施

《5回 4・5・8月実施済、9・11月》

ウ 魅力発信サイト「ISOGO+」（いそごぷらす）において、磯子の自然や歴史、みどころなどの 100 周年関連コンテンツを拡充

(2) 堀割川の魅力づくり活動支援

地域団体によるイベント・広報活動等の支援

《4回 9～3月》

(3) 堀割川の親水活用事業

磯子区の歴史の一部である堀割川や水際線の魅力発信に向け、堀割川と大岡川、中村川や根岸湾をつなげるイベント等を実施

《3回 10～3月》



「魅力発信サイト『ISOGO+』（いそごぷらす）」



「堀割川でのイベントの様子」（R7）

4 自治会町内会振興事業 [予算額：5,333 千円] <地域振興課> <table><tr><td>【アウトカム指標(全)】</td></tr><tr><td>自治会町内会加入率</td></tr><tr><td>前年度実績以上</td></tr><tr><td>【参考：7年度実績】</td></tr><tr><td>66.2%</td></tr></table>	【アウトカム指標(全)】	自治会町内会加入率	前年度実績以上	【参考：7年度実績】	66.2%	自治会町内会の活動支援や負担軽減等、地域の振興に寄与する取組を進めることで、自治会町内会加入率の向上や自治会町内会活動の充実、持続可能な自治会町内会運営につなげます。 (1) 自治会町内会支援事業 ア 加入申込書（多言語版（英語・中国語・韓国語）含む）・加入促進チラシの配布 イ 自治会町内会用会計システム操作講習会 《3回 6月実施済 6月5日・20日・30日》 ウ 自治会町内会会計に関するアドバイザー派遣・相談《7回》 エ 掲示板設置等補助事業 (2) 自治会町内会役員等表彰事業 ア 自治会町内会長感謝会《2月》 イ 自治会町内会役員等表彰 (3) 自治会町内会デジタル化お助け事業《20回》 デジタル機器の初歩的な取扱いや自治会町内会のホームページ作成など、きめ細やかな支援を実施
【アウトカム指標(全)】						
自治会町内会加入率						
前年度実績以上						
【参考：7年度実績】						
66.2%						



「自治会町内会長感謝会の様子」(R7)



「自治会町内会長感謝会の様子」(R7)

5「区民のちから」発揮・活用事業 [予算額：4,961 千円] <地域振興課> <table><tr><td>【アウトカム指標(1)】</td></tr><tr><td>地域力の取組を通して 地域と関わりを持った 人の数</td></tr><tr><td>50人</td></tr></table>	【アウトカム指標(1)】	地域力の取組を通して 地域と関わりを持った 人の数	50人	いそご区民活動支援センターを中心とした地域活動の担い手育成、講座の実施や情報発信により、自治会町内会や活動グループ・団体を支援することで、多くの区民が地域活動に主体的に参加できる環境を整えます。 (1)「区民のちから」 発揮・活動支援事業 ア 若者世代ボランティア派遣事業 イ 地域の担い手育成交流会《11 月》 ウ いそご地域活動フェス《12 月》 エ スキルアップ講座《2回 7月実施済 2月》 オ いそご区民活動支援センター運営事業 (2) 磯子区連合町内会行事支援事業《9 地区》 地域の様々な団体が連携して実施する行事（健民祭等）を支援することで、地域のつながりを強化し、地域に対する愛着や誇りを育みます。 (3) 地域の居場所づくり支援事業《3 団体》 多世代による多様な地域活動を活発にし、地域における顔の見える関係づくりを進めるため、地域交流の場や居場所づくりを進める団体に対して、空き家や空き店舗等を活用した施設改修や活動などのための補助金を交付します。	 「森南納涼祭へのボランティア派遣の様子」(R8)
【アウトカム指標(1)】					
地域力の取組を通して 地域と関わりを持った 人の数					
50人					
6 磯子まつり事業 【拡充】 [予算額：5,500 千円] <地域振興課> <table><tr><td>【アウトカム指標(全)】</td></tr><tr><td>来場者アンケートの 満足度の割合</td></tr><tr><td>99%</td></tr></table>	【アウトカム指標(全)】	来場者アンケートの 満足度の割合	99%	区民・区内活動団体・区内企業等で構成する実行委員会が主体となり、磯子まつりを開催することで、磯子区の賑わいや活性化を推進し、区民の皆様の磯子区への愛着と一体感の醸成を目指します。 第50回磯子まつりは、区制100周年に繋がる取組を実施し、区民の皆さまと一緒に機運を高めてまいります。 「第50回磯子まつり」（9月27日予定） 【参考】 第49回磯子まつり 来場者数 約47,000人	 「第60回滝頭地区健民祭」(R7)  「第49回磯子まつり」(R7)
【アウトカム指標(全)】					
来場者アンケートの 満足度の割合					
99%					



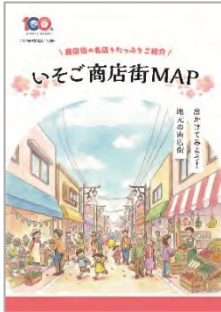
「森南納涼祭へのボランティア派遣の様子」(R8)



「第 60 回滝頭地区健民祭」(R7)



「第 49 回磯子まつり」(R7)

7 商店街にぎわいづくり事業 [予算額：4,030 千円] ＜地域振興課＞ <table><tr><td>【アウトカム指標(全)】</td></tr><tr><td>商店街宝くじ実施期間中に来店客が増えた参加店舗の割合</td></tr><tr><td>30%</td></tr></table>	【アウトカム指標(全)】	商店街宝くじ実施期間中に来店客が増えた参加店舗の割合	30%	商店街の魅力の積極的な発信や商店街で行うイベント等の支援を行い、商店街を訪れる契機につなげることで、にぎわいの創出及び地域コミュニティの活性化を目指します。 (1) 商店街朝市《5回 4月（2回）・5月実施済 9・11月》 区役所屋外駐車場や他のイベント会場へ出店して開催 (2) 商店街魅力発信イベントの実施 磯子区商店街連合会と連携し、商店街の店舗を巡ることで、商店街の魅力をPRする商店街宝くじを実施《2回 10～11月・2月》 (3) 商店街マップの配布 商店街を紹介する冊子を作成し、商店街、区内郵便局、区役所窓口やイベント等で配布することで、商店街の情報及び魅力を発信  「商店街朝市」(R8)   「商店街マップ」「いそご商店街宝くじ」
【アウトカム指標(全)】				
商店街宝くじ実施期間中に来店客が増えた参加店舗の割合				
30%				

横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から再配当】

魅力ある商店街づくりや商店街の活性化を図ることを目的として、商店街等が実施するイベントにかかる経費を補助します。

商店街プレミアム付商品券支援事業【経済局事業】

地域経済の活性化を図るため、商店会等が主体となって発行する商品券事業に係る経費を補助します。

8 区民スポーツ振興事業

[予算額：1,420 千円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

【横浜市民スポーツ意識調査】1年間で運動やスポーツを週1回以上実施した(磯子区)

70%

磯子区スポーツ協会加盟団体やスポーツ振興団体が開催する区民大会やスポーツ教室の支援及び区民がスポーツに親しむ機会を提供することで、区民のスポーツを通じた健康づくりを促進し、心身の健康増進や生きがいがづくりにつなげます。

(1) スポーツ振興活動補助金交付事業

磯子区スポーツ協会加盟団体等が開催する区民スポーツ大会や教室へ補助金を交付。《学童野球・剣道大会等 14 事業交付済》

(2) トップスポーツチームとの連携を通じた機運醸成事業

磯子区連合町内会長会とともにホームタウン協定を締結した横浜ビー・コルセアーズとの連携により、スポーツの振興を図ります。

ア 試合観戦企画(磯子区応援 DAY)

《2回 4月実施済(申込数:205組410人)・10月》

イ バスケットボールクリニック(親子向け想定)の実施《1回》

ウ スポーツチームと連携した区制100周年など区事業のPR等

《4月磯子区応援 DAYにて実施 磯子区ブース来場者約250人》



「春季磯子区民剣道練成大会」



「横浜ビー・コルセアーズ
磯子区応援 DAY 磯子区ブースの様子」

9 地域文化活性化事業 拡充 [予算額： 985 千円] <地域振興課> 【アウトカム指標(3)】 いそご芸術文化祭来場者数 2,600人	第三次磯子区読書活動推進目標に基づき、乳幼児から高齢者まで、すべての世代が読書に親しむ機会を創出し、読書活動の推進に向けた取組を行います。また、地域の文化活動団体への支援及び様々なグループの発表の場や芸術鑑賞の機会をより多く提供することで、磯子区の文化の活性化を図ります。 (1) 読書活動推進講演会《2月》 拡充 100 周年記念講演会の実施 (2) まちじゅう図書館事業《4回 7月実施済 9・11・1月》 身近な施設で本を楽しんでいただくため、ライフステージに合わせた本のセットを地区センター等の区民利用施設間で巡回展示 (3) 「いそご芸術文化祭」参加事業への助成《17 事業 1 事業申請済》 (4) 区民ホールギャラリーでの展示 区内のグループ等による創作物（絵画等）を週替わりで展示  「読書活動推進講演会」(R7)
10 脱炭素・まちの美化推進事業 [予算額：2,300 千円] <地域振興課> 【アウトカム指標(全)】 区民1人あたり1日に排出する燃やすごみの量 374グラム以下	リニューアブル 3 R +Renewable (※) の推進やポイ捨て防止等まちの美化について、様々な普及・啓発活動を行い、区民が排出する燃やすごみの量を減らすことで、横浜グリーンエキスポを見据えた脱炭素社会の実現を目指します。また、路上等屋外の公共の場所での喫煙が禁止されるため、その周知広報に取り組みます。 リニューアブル ※Renewable：再生可能な資源に置き換えることであり、例えば、木や紙などの代替やバイオマス素材プラなどを使用した製品を選ぶこと (1) イベント等の機会を活用した啓発活動 (2) 保育園・幼稚園、小・中学校での出前教室 (3) もったいないノートの配布《8月3日～9月30日》 (4) 環境施設見学会《8月実施済》 家庭から出されたごみを安全に焼却する施設及び、びん・缶・ペットボトルの選別施設、焼却後に残った灰などを安全に埋め立てる施設の見学 (5) リサイクル工作教室《8月（2回）実施済》 (6) 磯子駅周辺において、周辺事業者等の協力による清掃活動の実施 (7) 横浜マラソン区内コース沿道清掃《10月》 (8) 拾ったごみの量と質でポイントを競い合うごみ拾いイベントの開催《12月》  「スポGOMI大会 in 磯子の様子」(R7)



「読書活動推進講演会」(R7)



「スポGOMI大会 in 磯子の様子」(R7)

11 区政推進事業

新規

[予算額：9,774 千円]

＜区政推進課＞

＜総務課＞

【アウトカム指標(全)】

行政サービスをはじめとした総合的な生活環境について満足していると答えた割合

65%

地域課題の解決に向けて必要な調査を行うとともに、主要事業の企画・進行管理や、効果的でわかりやすい情報発信等を行うことで、区の行政運営を効果的・効率的に推進します。

また、総合案内で丁寧な庁舎案内を行うほか、区内に設置する案内サインの点検・修繕等を行うことで、親しみやすく、利用しやすい区役所を実現します。

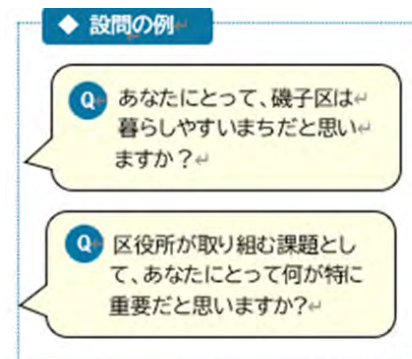
- (1) 来庁者への親切丁寧な庁舎案内を実施
- (2) 生活に必要な情報や区の魅力を伝える情報をまとめた「ようこそ磯子」を転入者等へ配布するほか、区内の魅力的な風景等を撮影した広報素材の収集・活用
- (3) 区民生活に関わりの深い各種統計情報を掲載した「磯子区統計白書」の発行《12 月》
- (4) 区内案内サインの点検・修繕等《12 月》
- (5) 運営方針の策定、周知《策定 5 月実施済、周知 6 月実施済》
- (6) 区民ニーズを踏まえた行政運営を行うため、区民意識調査を実施 **新規** 《アンケート調査 6 月実施済、公表 1 月》

◆調査概要

- ・調査対象：満 18 歳以上の磯子区民
 - ・抽出人数：3,500 人
 - ・抽出方法：単純無作為抽出（住民基本台帳）
 - ・回答方法：インターネットまたは郵送による
 - ・回収数：1,645 件（回収率 47.0%）※速報値
- ＜参考＞R5 年度調査：回収数 1,485 件（回収率 42.4%）



「親切丁寧な庁舎案内」



「区民意識調査の設問例」

12 区民満足度向上事業

[予算額 : 3,839 千円]

<総務課>

【アウトカム指標(1)イ】

講演会で人権の大切さ
への理解が深まった人
の割合

80%

職員一人ひとりの窓口対応力の向上や人権意識の向上を図る研修等を実施するとともに、来庁者にとって利用しやすい庁舎環境の整備を行うことで、安心・信頼して行政サービスを受けることのできる区役所を実現します。

(1) 研修、講演会等の開催

ア 対応力向上研修《3回》

イ 人権啓発講演会《1回》

(2) 区庁舎環境整備事業

来庁者向け Wi-Fi の拡充や窓口発券システムの運用等、お客様の利便性向上に資するサービスを提供するとともに、利用しやすい庁舎環境を整備



「窓口発券システムによる混雑緩和」

Ⅱ 安心・安全なまち

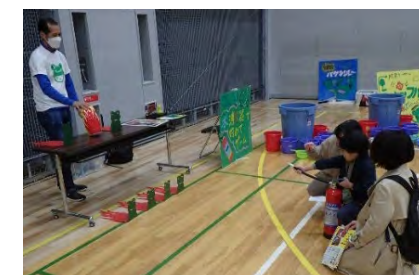
【4事業 14,042千円】

首都直下地震や南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念される中、震災や激甚化・頻発化する風水害に備え、様々な世代や多様な避難者への対応を含めた自助・共助の取組の支援や啓発等により、一人ひとりの備えと地域の絆をさらに浸透させ、地域防災力の向上を図ります。また、地域・学校・警察等と連携した防犯や交通安全対策をより一層強化し、安心・安全なまちづくりを推進します。

事業名	事業内容
13 地域と一緒につくる防災・減災事業 重点 拡充 [予算額：8,930千円] <総務課> <福祉保健課> <生活衛生課> <高齢・障害支援課>	地域が主体となつて行う防災訓練の支援、区民の自助・共助の意識向上や取組促進を目的とした啓発、防災ボランティア団体の活動支援、区災害対策本部の充実強化を行うことで、災害時への備えを実施している区民を増やし、減災につなげます。 (1) 地域の自助・共助啓発事業 ア 防災講座の実施《30回 申込15回、7回実施済》 あらゆる世代の他、いそご多文化共生ラウンジと連携して、新たに在住外国人も対象に、大規模地震や風水害等に対する備えや避難行動等に関する講話及び防災啓発動画・資料・物品の配布 イ 地域防災アドバイザー派遣《10団体 申込6団体、1団体派遣中》 町の防災組織が抱える課題解決のため、防災の専門知識を有する団体をアドバイザーとして、自治会町内会、マンション管理組合及び地域防災拠点へ派遣（屏風浦小学校派遣） ウ 楽しい防災プログラム体験会《11月7日》 あらゆる世代の防災訓練への参加や、地域における防災の担い手育成につなげるため、自治会町内会等の防災訓練に活かせるゲーム形式の訓練などの体験会を磯子消防署と共催で実施



「地域防災アドバイザー派遣」(R7)



「楽しい防災プログラム体験会」(R7)

エ 崖地相談会《7月（2回）11組 実施済》

激甚化する災害による被害を軽減するため、専門家（地盤品質判定士）による崖地・擁壁の維持管理等に関する相談会を実施

オ 防災関連マップ等の配布

区民の自発的な防災・減災活動に繋げるため、磯子区区民生活・震災時防災マップ、在宅避難リーフレット、各種ハザードマップを配布することによる啓発を実施

カ 防災ボランティア活動支援

(ア) 防災パネル展の開催《2回 9・1月》

(イ) 応急手当普及員の新規講習・再講習支援

(2) 地域防災拠点等支援事業

ア 地域防災拠点運営委員向け講習会の実施《10月》

発災時の円滑な拠点運営や、拠点訓練の充実を図るため、運営委員向け講習会を実施

イ 地域防災拠点との通信訓練《11月》

発災時に即した通信方法を学ぶため、区内21カ所の地域防災拠点の学校と連携したデジタル移動無線機による通信訓練を実施

ウ 備蓄物資点検の実施《2回 9・11月》

防災倉庫の備蓄物資の適正管理のため、生活・救助資機材の点検や備蓄品の数量点検の実施

(3) 区災害対策本部強化事業 拡充

ア 区本部運営訓練《3回 5月実施済 9・1月》

関係機関、ボランティア団体と連携した訓練を実施

イ 拠点動員者研修《2回 8月実施済・10月》

災害時に地域防災拠点に動員する職員のスキルアップを図る研修を実施



「崖地相談会」(R8)



「区本部運営訓練」(R8)

ウ 通信機器の更新

発災時に区災害対策本部の全 13 班が円滑に情報受伝達を行えるよう、タブレットを更新するとともに地域 BWA※を導入《9 月導入済》

※市町村の公共サービス向上に資する高速通信で、災害時も混雑の影響を受けにくく比較的安定して利用可能。

(4) 災害時要援護者支援事業

ア 災害時要援護者支援事業

自治会町内会等の取組支援

イ 福祉避難所支援事業

災害時の福祉避難所運営に備えポータブル電源を 6 か所に配備《12 月》
(希望 27 施設への配備完了)

(5) 災害時医療連携事業

ア 災害医療合同訓練の実施

《2 月 7 日予定》

イ 医療機関等と連携した情報受伝達

訓練の実施《隔月 1 回 4・6・8 月実施済》

ウ 三師会との「のぼり旗掲出訓練」の実施《10 月 30 日予定》

エ 三師会、医療機関等による災害医療連絡会の開催《9・3 月》

(6) 災害時ペット対策事業 **拡充**

発災時におけるペットの同行避難が円滑に進むよう、地域防災拠点に対する支援を行います。また、飼い主に対しても日頃から必要な備えなど、ペット防災について啓発を行います。

ア ペット同行避難訓練の支援《4 か所 1～2 月》

イ 飼い主向けの講習会の実施

《2 月》【オンライン・対面併用開催】

ウ 区民ホールや地域防災拠点訓練等でのパネル展示《3 回 10・12・2 月》



「災害医療合同訓練」(R7)



「ペット同行避難訓練」

地域防災力向上事業【防災・危機管理統括本部事業】

(1) 地域防災活動奨励助成金

地域防災拠点運営委員会等が実施する研修・広報・訓練などの運営経費及び防災資機材の維持管理経費の一部として補助金を交付し、地域防災拠点を中心とした地域防災活動を支援します。

(2) 「町の防災組織」活動費補助金

自治会町内会等により組織されている「町の防災組織」が行う自主防災活動の経費の一部として補助金を交付し、地域の自主防災活動を支援します。

感震ブレーカー等設置推進事業【防災・危機管理統括本部事業】

震災時の火災による住宅被害の軽減を図るため、感震ブレーカー器具購入費の一部補助・取付支援を実施します。「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」における重点対策地域（不燃化推進地域）※においては器具購入費を全額補助、重点対策地域以外の地域においては器具購入費の一部補助（最大1/2 上限 2,000 円）を行います。また、自力で感震ブレーカーを取り付けることが困難な高齢者・障害者世帯に対し、取付を支援します。

また、さらなる設置促進に向け、横浜市で唯一のモデル地区として磯子区滝頭一丁目～三丁目において、委託事業者と職員が各戸を訪問し、事業概要や必要性、期待される効果を直接説明するとともに器具の配付を実施しています。

（※）【全域】岡村三丁目、岡村四丁目、滝頭二丁目、広地町

【地域の一部】磯子八丁目、岡村一丁目、岡村二丁目、岡村五丁目、岡村六丁目、滝頭一丁目、滝頭三丁目、中浜町、久木町、丸山二丁目

家具転倒防止対策助成事業【防災・危機管理統括本部事業】

大規模地震発生時の家具転倒による圧死や逃げ遅れ、火災などを防止するため、家具転倒防止器具購入費の一部補助・取付支援を実施します。令和8年度からは補助対象を全世帯に拡大し、さらなる設置促進を図ります。重点対策地域（上記※参照）においては器具購入費を全額補助、重点対策地域以外の地域においては器具購入費の一部補助（最大1/2 上限 2,000 円）を行います。また、自力で家具転倒防止器具を取り付けることが困難な高齢者・障害者世帯に対し、取付を支援します。

災害時医療体制整備事業【医療局事業】

大規模災害に備え、横浜市防災計画に基づいた災害時医療体制をより充実させるため、災害医療関係機関との連携を強化します。

14 地域・学校防犯力強化事業 **重点**

[予算額：1,750 千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(全)】

令和6年犯罪発生件数
(1月～12月※)
※警察の統計が暦年のため

628件

防犯対策や啓発活動を、地域・学校・警察等と協力・連携して進めることで、犯罪のない安心・安全なまちづくりを推進します。

(1) 防犯活動支援事業

ア 区民による主体的な防犯活動や取組に対する物品の貸与

イ 安全・安心メールの配信

ウ 磯子警察署と連携した特殊詐欺等防止の取組

(防犯啓発キャンペーンへの参加等)

(2) 安全・安心まちづくり推進協議会運営

ア 安全・安心まちづくり推進協議会総会の開催《7月24日》

イ 功労者表彰の実施《10月》

ウ 中学生ポスターコンクールの実施及び表彰《10月》

(3) 青色防犯パトロール



「自治会町内会による
防犯パトロール」(R8)

スマート防犯シティ推進事業【市民局事業】

(1) 暗がり解消推進事業

G I Sマップを活用した効率的な防犯灯の設置や、センサー・防犯カメラ機能を搭載したスマート防犯灯の実証実験を実施し、地域の暗がりの解消を図ります。

(2) 防犯のまちづくり推進事業

当事業の一環として、自治会町内会等が地域の防犯対策として設置する防犯カメラの費用を補助します。補助率は対象経費の10分の9、補助上限額は1台あたり28万円です。

地域防犯活動支援事業【市民局事業】

「よこはま安心ボックス設置」事業では、横浜市内在住者を対象に、宅配ボックスを市場価格のおおむね半額で購入できるよう支援します。宅配ボックスの設置により、なりすまし犯罪や置き配盗難を防止するとともに、不在時の荷物受取りや再配達の削減を図ります。

15 交通安全啓発事業

[予算額 : 2,723 千円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

通学路でのこどもの交通事故死亡者数

※()は市内目標と市内実績

0 (0) 人

交通安全指導と啓発活動を警察、交通安全協会等の団体と連携し、主に通学路での子どもの交通事故死を無くすとともに、全世代に向け安全意識の向上に取り組みます。

(1) 交通安全指導

交通安全教室や講習を警察署、交通安全協会等と連携して実施

ア 幼児交通安全教室《46 保育所・幼稚園》

イ 児童交通安全教室・はまっ子交通あんぜん教室《全 16 校》

ウ 大人への自転車マナー等交通安全啓発

(ア) 交通安全教室等で大人（保護者）に向けた自転車マナーの呼びかけ等

(イ) 区シニアクラブ連合会行事等にて、反射材の配布等

(ウ) 地区センター等区内施設にて、啓発グッズの配布等

(2) 交通安全キャンペーン

各季キャンペーン《4回 4・7月実施済 9・12月》

(3) スクールゾーン対策協議会への助成《全 16 団体》



「はまっ子交通あんぜん教室
(森東小)」(R8)

16 食と暮らしの安全

確保事業

[予算額： 639 千円]

<生活衛生課>

【アウトカム指標(1)】

高齢者や子どもに関する施設での集団食中毒発生件数

0 件

高齢者や子どもに関係する施設等の健康危機管理強化に対する支援や生活衛生及び動物の愛護に関する正しい情報を発信することで、食中毒予防や犬による咬傷事故防止など、区民の安全で安心な生活を実現します。

(1) 食と暮らしの衛生サポート事業

ア 高齢者や子どもに関係する施設の衛生支援

高齢者給食施設や学校、保育園給食施設に立入指導及び衛生支援

イ 食中毒、感染症予防対策

(ア) 食中毒予防キャンペーン《9月》

(イ) 感染症対策指導者養成研修会《10月》

ウ 食と暮らしの衛生に関する情報発信

食中毒・衛生害虫・災害時ペット対策のパネル展

《3回 6・8月実施済 12月》

エ 衛生害虫等対策

ハチの巣駆除等機器の貸出し

(2) 犬や猫の適正飼育等普及事業

ア 動物適正飼育に関する啓発

(ア) 犬や猫の適正飼育啓発資料の配布

(イ) 長寿犬の飼い主表彰及び適正・終生飼育講演会《11月》

イ 猫の飼育問題解決支援事業

(ア) 猫の適正飼育支援（猫侵入防止機器の貸出し）

(イ) 地域猫活動の支援



「アシナガバチの巣」



「長寿犬の飼い主表彰式」(R7)

Ⅲ 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

【9事業 24,406千円】

多様化する子育てニーズを踏まえた育児支援をはじめ、初年度を迎える第5期の磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）に基づく地域の皆さまの活動を支える取組や、地域包括ケアシステムの推進、障害のある方への支援、多文化共生の推進に向けた取組を行うことで、ともに支えあい、子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまちの実現を目指します。

事業名	事業内容
17 磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業 重点 拡充 【予算額：6,512千円】 ＜福祉保健課＞	「第5期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」（計画期間：令和8～12年度）に基づき、地域の皆さまの活動を支える取組を実施することで、基本理念である「誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす」の実現を目指します。 (1) スイッチON磯子支援事業 ア 地域福祉保健活動に対する補助 地域福祉保健活動の取組や、推進会議に対する補助金の交付 イ 区役所・区社協・地域ケアプラザ職員向け地域支援研修《10月》 (2) スイッチON磯子普及啓発事業 拡充 ア 子どもたちにスイッチON磯子を知ってもらい、第5期計画の事業推進に意見を反映 (ア) こどもワークショップの開催《8月20日 22人》 小学2～6年生を対象としたグループワークの実施 (イ) 小学校高学年を対象とした出前授業《10～3月》 第5期計画についての講義及びグループワークの実施 イ スイッチON磯子講演会の開催《11月13日》 地域福祉保健への理解促進及びスイッチON磯子を推進するために講演会を開催



「こどもワークショップの様子」
(R8)

【アウトカム指標(全)】
計画認知度
30%

18 子育て応援事業

重点 拡充

[予算額：6,102 千円]

＜こども家庭支援課＞

【アウトカム指標(全)】

3歳児健診で、お子さんに対して育てにくさを感じている方が、相談先を知っているなど、解決方法を知っている割合

83%

地域子育て支援拠点「いそピヨ」の日曜日開所等による「共育で」支援や地域へのアウトリーチ、子育て応援マップの充実等による情報提供など、妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援を進め、保護者が子育てに関する相談をしやすい環境を作ることで、“子育てしやすいまち 磯子”の実現を目指します。

(1) 「Sunday いそピヨ」推進事業 **拡充**

いそピヨの日曜日開所「Sunday いそピヨ」の実施回数を増やし、男性も参加しやすい講座等と併せて実施するとともに、引き続き、地域へのアウトリーチを実施します。

(磯子地域ケアプラザ、上中里地区センター、根岸地域ケアプラザ)
《月1回 4～8月実施済 9～3月》



「Sunday いそピヨの様子」(R8)

(2) 出産育児応援事業

ア プレパパ出産育児教室《3回 6月実施済 10・2月》

イ あかちゃん教室(11会場)《各10回 5～8月実施済 9～3月》

ウ 授乳相談《月1回 4～8月実施済 9～3月》



「プレパパ出産育児教室」(R7)

(3) 地域で子育て応援事業 **拡充**

ア 子育て応援マップ「いそっこマップ」の改訂

磯子区の子育て情報を提供する「いそっこマップ」を最新情報にアップデートし、赤ちゃんが生まれたご家庭や、子育て世帯が利用する施設で配布《9月》

イ 磯子区オリジナルアルバム配布、手形・足形スタンプ配置

新たな家族を迎えた家庭に、メッセージや手形・足形の成長記録を残せるオリジナルアルバムを通年で配布するとともに、区制100周年記念の特製ブックカバーを付けて配布《9月～3月》

ウ 区制100周年記念デザインフォトブースパネルの設置

地域子育て支援拠点「いそピヨ」や親と子のつどいの広場(6か所)にて、フォトブースパネルを巡回設置《9月～3月》



「いそっこマップ (R8.9 発行)」

	エ 障害児支援ネットワーク 《3回 5月実施済 9・1月》 障害児への理解や支援を推進するための交流会等を実施 オ 子育て支援連絡会《4地区 6～7月各1回実施済、全体会 2月》 主任児童委員や保育園、地域子育て支援拠点等の連携による、子育て支援に関する課題の検討や、解決に向けた取組の企画・実施 カ 保育ボランティア研修・配置事業《2回 7月実施済 11月頃》 区役所での乳幼児健康診査等で協力いただいている保育ボランティアグループを対象に、保育の質の向上を図るための研修を実施	 「保育ボランティア研修」(R8)
--	---	---

地域子育て支援拠点「いそピヨ」事業【こども青少年局から再配当】

地域子育て支援拠点では、就学前の子どもとその保護者が遊びながら交流できるスペースを提供するとともに、子育て相談、子育て情報の提供などを行います。利用登録のうえ、無料で利用できる施設で、子育て支援に関わる方のための研修会や子どもの預かりなども実施しています。

< 7つの機能 >

子育て家庭のために	(1) 遊んで、交流のできる場を提供します（親子のひろば） (2) 子育ての不安や悩みの相談をお受けします（子育て相談） (3) 子育てのいろいろな情報を集め提供します（情報の収集・提供事業）
子育て支援者のために	(4) 支援者のネットワークをつくれます（ネットワーク作り） (5) 支援者向けの研修会などを行います（人材育成機能）
地域の中での子どもの預かり合いの促進	(6) 横浜子育てサポートシステム事務局の運営を担います
地域で子育て家庭を支えるために	(7) 横浜子育てパートナーが親子をサポートします

19 「STOP!こども虐待」事業
[予算額：1,815 千円]
＜こども家庭支援課＞

【アウトカム指標(全)】
児童虐待死
0人

子どもへの関わり方に悩む養育者を対象とした、適切なコミュニケーションを学ぶ講座を開催するほか、磯子区オリジナル児童虐待防止リーフレットを配布しました。また、支援が必要な家庭を地域で支えるネットワークづくりを目的とした連絡会を実施することで、子どもたち一人ひとりが尊重され、地域で子どもと家族を支える環境を構築し、児童虐待死ゼロの継続を目指します。

(1) ひろがれ!「ほのぼの子育て」事業

ア 「ほのぼの子育て」講座

子どもとより良い関係を築く際に大切な養育のスキルを体験的に学ぶ養育者向けの実践講座《2回 6月実施済・1月》

イ 磯子区オリジナル児童虐待防止リーフレット『今日からできるほのぼの子育てのヒント♪』の配布

保育園・幼稚園新入園児及び小学新1年生の全家庭へ配布

(2) エリア別児童虐待防止連絡会《6回 9～12月》

要保護児童対策地域協議会に位置づけられている実務者会議と個別ケース検討会議とをつなぐエリア別の連絡会を、中学校区ごとに開催し、有識者を講師として招き研修・グループワークを実施

(3) 親子のための法律相談

母子の権利擁護とともに、DV等から親子の安全を守るために、区役所で弁護士による専門相談を実施

《6回 5・7月実施済 9・11・1・3月》



「ほのぼの子育て講座の様子」(R8)



「児童虐待防止リーフレット『今日からできる ほのぼの子育てのヒント♪』」

児童虐待防止啓発地域連携事業【こども青少年局から再配当】

児童虐待防止に関する広報・啓発を行うとともに、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりを推進します。

- (1) 児童虐待防止啓発地域連携事業《関係機関向け講演会 1回》
- (2) 区要保護児童対策地域協議会実務者会議《代表者会議 2回》
- (3) 児童虐待防止のための区民向け啓発

ア パネル展示《1回》

イ プレパパ出産・育児教室での乳幼児揺さぶられ症候群予防啓発《3回》

ウ 啓発物品購入（歯ブラシ、缶バッチ、ウェットティッシュ）

20 保育園地域子育て支援事業 **拡充**

[予算額：854 千円]

＜こども家庭支援課＞

【アウトカム指標(1)】

育児講座・育児イベント
参加者満足度

95%

磯子区を安心して子育てができるまちにしていくため、市立保育園（東滝頭、洋光台第二）を活用した育児講座やイベントを実施することで、親子のふれあいや地域とのつながりを醸成し、子育て家庭を支援します。また、園児が花や野菜を育て、地域の親子・民間保育園・高齢者施設等に配布するなど、“緑や花”を通じて支え合いのネットワークを拡げながら、区制 100 周年を区民の皆さまとお祝いする取組や、横浜グリーンエキスポの機運醸成を進めます。

(1) 育児支援事業

ア 施設開放時に保育士による絵本の読み聞かせや絵本貸出コーナーの設置

イ 育児講座の開催や親子の居場所・仲間作りの場の提供

《育児講座：8回 7月実施済 9・11・12・1・2月、仲間作りの場の提供：29回 5・6・7月実施済 9・10・11・12・1・2・3月》

ウ 地域ケアプラザ等での保育士による出前保育《月2～3回》

エ 市立及び民間園保育士による磯子スポーツセンター等での育児支援イベントの開催《3回 6月実施済 10・11月》

オ 「磯子区オリジナルアルバム」を持って園に遊びに来た家庭向けに手形・足形用のスタンプ台を設置

(2) 食育推進事業（すくすく・もぐもぐ体験事業）

ア 給食体験と育児相談の実施《給食体験：各園月2回（4・8月以外）》

イ 給食レシピの配布及びホームページでの掲載

(3) 花いっぱい 野菜いっぱい あったか保育園事業 **拡充**

ア 園児が花や野菜を育て、園庭や区庁舎で展示

《随時実施（区庁舎展示は10月）》

イ 育てた花や野菜、種の配布を通じた地域の親子、民間園、高齢者施設等との交流《随時実施》

※区制 100 周年・横浜グリーンエキスポ開催前の節目のタイミングを捉え、花等の展示・配布時にそれぞれのロゴやキャラクターを活用した装飾や手作りのピック等を添えてPRします。



「育児支援イベント『いそっこあつまれ!!』の様子（磯子公会堂）」(R7)



「園児が育てた花を飾ったフラワーツリー（区役所1階ホール）」



「『トウunkトウunk』のシールを貼った手作りピック」

21 青少年育成活動助成事業

[予算額：860 千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(1)】

青少年育成活動支援事業
にて支援した事業への
延べ参加者数

5,000人

青少年育成を目的とした団体が行う事業に対して補助を行うことで、青少年が体験活動に参加する機会を創出し、青少年の健全育成を推進します。

(1) 青少年育成活動への支援《2 事業申請済 2 事業交付済》

(2) 磯子区子ども会連絡協議会への支援

磯子区子ども会連絡協議会が行う研修会やサマーキャンプ等の事業に対する補助の実施



「サマーキャンプ」(R7)

磯子区寄り添い型学習支援事業【健康福祉局から再配当】

生活困窮状態等により支援を必要とする家庭に育つ中学生を対象に、個別学習や学習の仕方に関する相談を行うことで、高校進学に向けた支援を行い、将来の自立に向けた基盤づくりのための支援を行います。

磯子区寄り添い型生活支援事業【こども青少年局から再配当】

養育環境に課題があることなどから、日常の生活習慣などが身についていない小中学生（主に小学生）を対象に、生活能力の向上を図ることで、将来的に自立した生活を送ることができるよう支援を行います。

22 区民の健康づくり

応援事業 **重点** **拡充**

[予算額：2,870 千円]

<福祉保健課>

【アウトカム指標(全)】

平均自立期間

(日常生活に介護を要しない期間の平均で健康寿命の指標の一つ)

延伸

(参考値)

男：79.70年

女：83.62年

(令和6年・磯子区)

区民が自ら健康づくりに取り組めるよう知識等の普及・啓発のほか、身近な地域での健康づくり活動を支援することで、健康寿命の延伸を目指します。

(1) 出張！健康づくり応援隊

保健師・栄養士・歯科衛生士が地域での催し等に出張し、地域の方と協力して生活習慣改善につなげるための相談やイベントを実施

- ・ 4月19日 日清オイリオ横浜磯子春まつり 419人参加
- ・ 6月18日 歯と口の健康週間イベント 180人参加
- ・ 8月22日 杉田劇場夏まつり 260人参加
- ・ 9月27日 磯子まつり (予定)



「出張！健康づくり応援隊/日清オイリオ横浜磯子春まつりでの噛む力チェックの様子」(R8)

(2) がん検診・特定健診啓発事業

パネル展等を通じたがん検診・特定健診の啓発

区内協力生花店と連携した乳がん検診啓発

《ピンクリボン運動の推進月間である10月に実施

期間：10月15日～10月30日》

(3) 保健活動推進員関連事業

ア 保健活動推進員研修《2回 5月実施済 12月》

イ 保健活動推進員活動支援

(4) 乳幼児の「食」応援事業

ア 出張栄養相談、講座《月1回 4～9月実施済 10～3月》

イ はじめての離乳食教室《月1回 4～8月実施済 9～3月》

ウ おいしいお話よみかせ《12月》

(5) 区民の「健口」応援事業

ア おやこ歯っぴー教室《隔月 5・7月実施済 9・11・1・3月》

(7月はSunday いそピヨと連携して実施)

イ 磯子区歯科医師会との連携会議《11月》



「がん検診啓発事業/協力生花店での乳がん検診啓発グッズ配布の様子」(R7)

23 高齢者みんなで支えるまちづくり事業
[予算額：1,871 千円]
<高齢・障害支援課>

【アウトカム指標(全)】

平均自立期間
 (日常生活に介護を要しない期間の平均で健康寿命の指標の一つ)

延伸
 (参考値)
 男：79.25年
 女：83.68年
 (令和5年・磯子区)

介護予防・健康づくりや認知症の方を地域で見守る体制づくり、高齢者が一人で悩まず誰かにつながる地域づくりを進めることで、横浜型地域包括ケアシステムを推進し、健康寿命の延伸や、高齢者一人ひとりが可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることを目指します。

(1) フレイル予防事業

磯子フレイル予防サポーターを中心に下記の取組を進めます。

- ア 磯子まつり等にて、フレイル予防の啓発や地域の通いの場等について周知
- イ 地域の通いの場等、高齢者が集まる場において、フレイル予防の普及啓発

(2) 認知症の理解に向けた普及啓発

- ア 磯子区認知症高齢者等あんしんネットワーク事業
 - (ア) 磯子区認知症事業・高齢者虐待防止連絡会《12月》
 - (イ) 認知症の理解を深めるためのリーフレット増刷
- イ 区民理解の促進
 - 認知症サポーター養成講座を実施
- ウ 普及啓発講演会
 - 認知症当事者等による講演会を実施《11月》

(3) 「つながるマグネット」事業

ひとり暮らし高齢者等が、困り事を自ら相談し、「つながる」ことができるよう、お住まいの地域のケアプラザと区役所の連絡先を記載した「つながるマグネット」を作成します。配布については、地域ケアプラザや区役所の支援の対象となっていない方で、現時点では自立されているなどの理由で民生委員の訪問を希望されていない方等に郵送します。《12月》



「磯子まつりでのフレイル予防啓発の様子」(R7)



「つながるマグネット」

元気づくりステーション 【健康福祉局から再配当】

「歩いて行ける身近な場所で仲間と介護予防に取り組む自主的なグループ活動」

第9期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画において、元気づくりステーション等のグループ活動を広げ、介護予防の取組を推進することが位置づけられています。磯子区では令和8年度、26のグループが活動しています。

- (1) 区保健師と地域包括支援センターの看護職が連携し、新規グループの立ち上げや既存グループの活動の活性化支援
- (2) 区内元気づくりステーションの情報マップ等を活用した地域に向けた情報提供
- (3) フレイル予防サポーター養成講座の実施

磯子フレイル予防サポーター 【健康福祉局事業】

磯子区では、健康福祉局のフレイル予防普及啓発を推進する人材育成モデル事業を活用し、令和5年度から磯子フレイル予防サポーターの人材育成に取り組んでいます。

介護予防と健康づくり、社会参加、生活支援を一体的に進め、地域における介護予防活動や通いの場等の支援に関わる人材として、「磯子フレイル予防サポーター」を養成することで、「高齢者が活躍できる通いの場の充実」や「多様な主体が連携した地域づくりの実現」に向けて取組を進めています。

令和8年度は、磯子まつりや地域のイベント等において、磯子フレイル予防サポーターが中心となり、広く市民を対象にフレイル予防の普及啓発活動を行います。

24 障害者地域生活サポート事業
[予算額：1,108 千円]
<高齢・障害支援課>

【アウトカム指標(1)】
支援者学習会参加者の満足度
100%

障害者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる地域共生社会を目指して、障害者の支援に関わる関係機関のネットワークにより、障害者の地域生活課題を抽出し、課題解決を図るとともに、支援者のスキルアップのための学習会を開催します。また、障害理解の促進に向けた区民向け普及啓発を行います。

(1) 障害者相談支援ネットワーク事業

- ア 支援者学習会《3回 10・12・2月》
- イ 障害者の防災の取組に関する啓発・意見交換

(2) 障害者週間等普及啓発

- ア 障害者施設自主製品紹介冊子「いそごでさがそ」の増刷及び障害事業所の通所者による駅等への配架
- イ 区民ホールにおける障害者施設自主製品販売「こすもすショップ」《毎月2回と障害者週間期間中3回 計27回》
- ウ 障害者週間パネル展
障害者週間に合わせてパネル展を実施《12月2日～8日》



「こすもすショップ」

磯子区精神障害者生活教室（すみれ会） 【健康福祉局から再配当】

こころの病気を抱える方の社会復帰・社会参加の支援のため、レクリエーションやスポーツ、創作活動などを区役所の会議室や公園等で実施します。《月4回程度》

自殺対策事業 【健康福祉局から再配当】

自殺の現状や自殺対策について広く普及啓発するため、高齢・障害支援課、福祉保健課、生活支援課、こども家庭支援課が合同で、自殺予防週間に合わせて、自殺予防週間パネル展等を実施します。（9月4日～18日）

25 多文化共生推進事業

[予算額 : 2,414 千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(2)】

ラウンジ総利用者数（イベント参加者数、支援者等含む）

4,000人

「いそご多文化共生ラウンジ」を拠点として、地域団体や学校等との連携を図ることで、「多文化共生を通して、誰もが地域で安心して力を発揮できる磯子」の実現を目指します。

(1) 多文化共生環境整備事業

区役所窓口等でのテレビ電話通訳タブレット及びポケトーク端末の運用

(2) 多文化共生推進のための連携事業

地域の抱える課題に対応するため、地域団体や学校等との連携を通じた多文化共生の推進

ア 防災やごみの分別など地域課題に対する取組

イ 外国人住民が地域で活躍できる場やきっかけづくりとして、地域イベントへの外国人ボランティアの派遣

ウ 日本語教室を活用した情報提供・啓発活動等《8回》



「学習支援教室での外国人向け
防災出前講座」(R7)

いそご多文化共生ラウンジ（国際交流ラウンジ）〈区民利用施設管理費 15,687 千円〉

外国人市民の方が抱く暮らしに関わる質問や相談、自治会町内会や学校等からの多文化共生に関する相談等を受けています。外国人と日本人の交流イベントや異文化紹介イベント、外国につながる子どもたちへのサポート等、多文化共生につながる取組を行っています。

＜主な機能＞

- ・外国人市民に対する情報提供・相談機能
- ・子どもの学習支援
- ・日本語教室へのサポート など



いそご
多文化共生ラウンジ
ISO GO International Lounge

「いそご多文化共生ラウンジ ロゴ」

議題3 令和9年度磯子区予算編成の考え方について



令和8年9月
磯子区

令和9年度磯子区予算編成の考え方について（案）

令和9年度は、区制100周年を迎えると同時に次の100年に向けた新たな一步を踏み出す年です。「横浜市中期計画2026～2029」に基づき、地域の特性に応じた取組を推進するとともに、「創造・転換」の観点から歳出改革及び財源確保等に取組み、区民満足度を高めることができるよう、以下の柱を基本に編成を進めます。

編成に当たっては、データを活用した事業の選択と集中に留意するとともに、令和8年度区民意識調査や、地域の方々が見聞交換を行う場であるコスモスミーティングなど、様々な機会に区民の皆様からいただいたご意見を踏まえ、区民ニーズや地域課題に対応した事業の検討を行います。

I ともに創り、祝う区制100周年 ～次の100年へつなぐ、住みたい・住み続けたいまち～

区制100周年を、区民の皆さまをはじめ自治会町内会、商店街、事業者など多くの方々とともに祝い、まちを彩るにぎわいを広げます。100周年を契機とした様々な連携をさらに深め、地域課題への取組や地域の活性化につなげます。また、同年に開催される横浜グリーンエクスポに関連したイベント等を通じて、脱炭素の取組や環境に配慮した行動を共に進めます。これからも、住みたい・住み続けたいまちの実現を目指し、これらの取組を次の100年へつなげていきます。

II 安心・安全なまち

防犯のまちづくり推進条例の趣旨を踏まえ、地域・学校・警察等との連携を一層強化し、犯罪手口の多様化・巧妙化に対応した防犯意識の向上や地域防犯活動への支援を進めます。また、令和8年熊本地震や同年8月千葉豪雨の発生により、災害への備えの重要性が再認識されています。大規模地震や激甚化・頻発化する風水害に対応するため、様々な世代や多様な避難者への対応を含めた自助・共助の取組への支援や啓発等を通じて地域防災力の向上を図り、安心・安全なまちづくりを推進します。

III こどもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

二年目を迎える「第5期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」を着実に推進します。こども家庭センターの設置をはじめとするこども・子育て支援施策のさらなる充実、地域包括ケアシステムの推進、健康づくりへの支援、障害のある方への支援、多文化共生の推進等に取り組むことで、ともに支えあい、こどもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまちの実現を目指します。

